

平成27年度 野鳥モニターによる 足立区野鳥調査報告書



【表紙写真（ハクガン）】提供：渡辺 美知子 氏 荒川河川敷にて撮影

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成27年度は、40人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、71種、延べ38,211羽の野鳥を確認しました。

例年と比べ、調査結果に大きな変化は見られませんが、ゆるやかに減少が続いている種もいくつか見受けられます。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

本書の調査期間にあたる平成27年度は、荒川でハクガンの飛来と越冬が観察されました。10月頃から目撃され新聞などでも報道があり、11月に本調査における「初観察」の記録となりました。東京湾周辺では実に58年ぶりだそうで、しかも幼鳥3羽でというのも大変珍しく、多くの愛鳥家の目を楽しませてくれたようです。今年の飛来や越冬にも期待が膨らみます。

11月には、区民向けの野鳥観察会を都立舎人公園で行いました。これまで野鳥モニターに調査という形で活動をお願いし、調査結果を本書として発行していましたが、野鳥モニターの活動内容については区民にはあまり知られていなかったのが現状でした。区民向け野鳥観察会は、野鳥モニターの活動をもっと広く区民の方にも知っていただこうと企画したものです。区民の方が自ら野鳥観察を楽しんでいただくことで、足立区の野鳥と自然環境に関心を示していただくきっかけにも繋がるのではないかと期待しております。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成28年8月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

調査概要	1
調査結果	
1 年間確認種数と個体数	4
2 区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3 調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4 調査月別確認種数と確認個体数	8
5 確認個体数ベスト 10 及び経年変化	9
平成 27 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	14
資料編	49
資料 1 平成 27 年度野鳥モニター名簿・担当地域	50
資料 2 調査月別確認種と個体数	52
資料 3 ブロック別確認種と個体数	54
資料 4 ～ 9 各調査月に確認された野鳥	56
資料 1 0 年度別確認種及び個体数一覧	62
資料 1 1 平成 27 年度野鳥モニター活動記録	68

調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成27年5月1日～平成28年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター40名による。

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

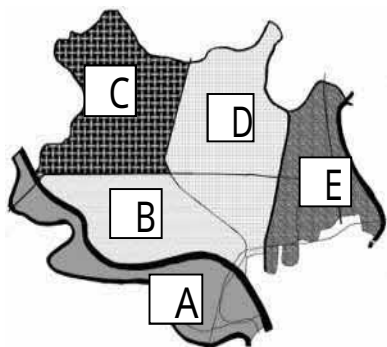
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	花畑六～八丁目
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（圀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

平成27年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成27年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40

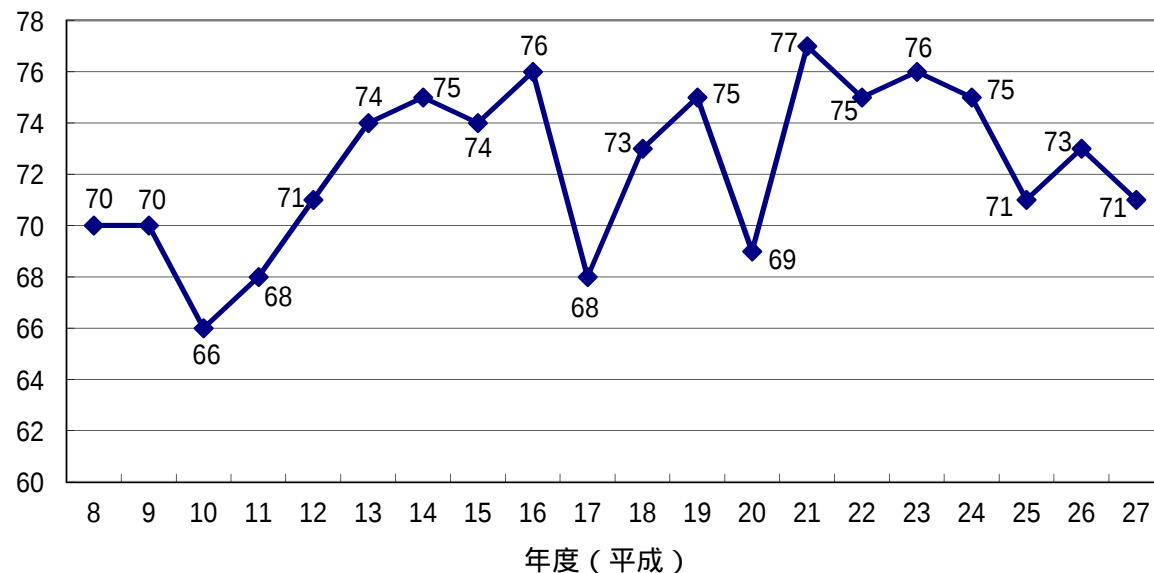
調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成27年度の調査で確認された野鳥は、71種、延べ38,211羽であった。

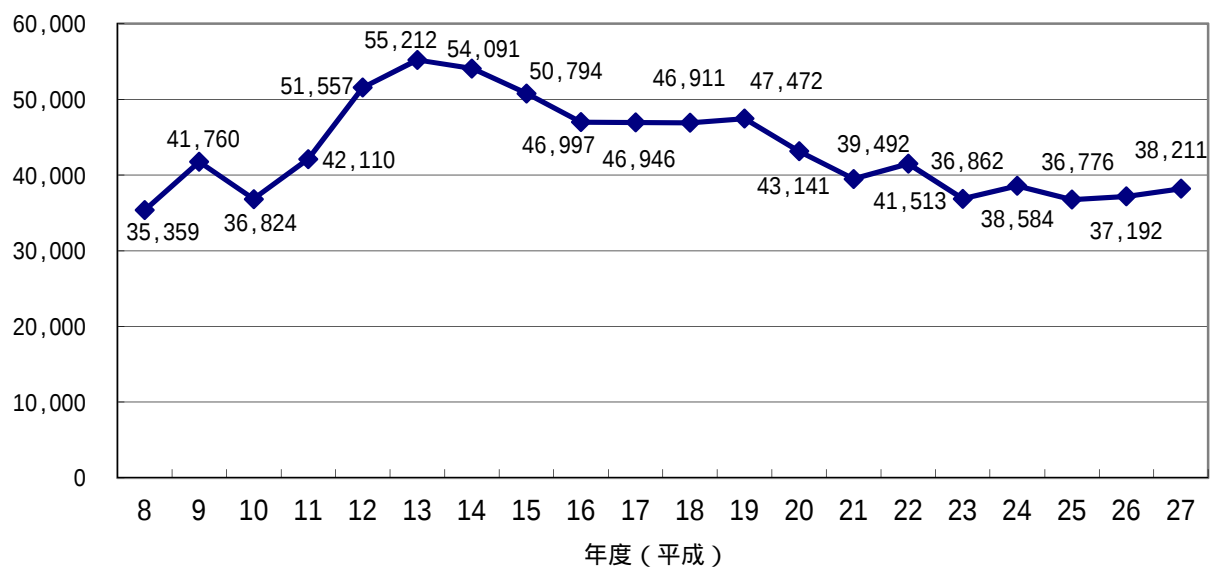
確認種数
(羽)

確認種数の経年変化



確認個体数 (羽)

確認個体数の経年変化



経年変化は過去20年分

NO	目名	科名	種名	合計	NO	目名	科名	種名	合計		
1	カモ	カモ	ハクガン	9	41	スズメ	カラス	ハシブトガラス	1,184		
2			ヒドリガモ	875	42		シジュウカラ	ヒガラ	2		
3			マガモ	3	43		シジュウカラ	585			
4			カルガモ	852	44		ヒバリ	ヒバリ	33		
5			ハシビロガモ	15	45		ツバメ	ツバメ	371		
6			オナガガモ	326	46		イワツバメ	36			
7			コガモ	239	47		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,689		
8			ホシハジロ	73	48		ウグイス	ウグイス	28		
9			キンクロハジロ	69	49		メジロ	メジロ	366		
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	15	50		ヨシキリ	オオヨシキリ	72		
11			カンムリカイツブリ	13	51		セッカ	セッカ	29		
12	ハト	ハト	キジバト	739	52		ムクドリ	ムクドリ	7,382		
13	カツオドリ	ウ	カワウ	2,377	53			コムクドリ	4		
14	ペリカン	サギ	アオサギ	90	54		ヒタキ	シロハラ	6		
15			ダイサギ	50	55			アカハラ	2		
16			チュウサギ	2	56			ツグミ	577		
17			コサギ	51	57			ジョウビタキ	41		
18	ツル	クイナ	バン	52	58			イソヒヨドリ	3		
19			オオバン	431	59			コサメビタキ	1		
20	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	1	60			キビタキ	1		
21	チドリ	チドリ	イカルチドリ	5	61			スズメ	スズメ	12,779	
22			コチドリ	6	62		セキレイ	ハクセキレイ	507		
23			メダイチドリ	4	63			セグロセキレイ	14		
24		シギ	チュウシャクシギ	5	64			タヒバリ	51		
25			イソシギ	60	65		アトリ	カワラヒワ	1,108		
26		カモメ	ユリカモメ	1,588	66			ベニマシコ	2		
27			ウミネコ	121	67			シメ	10		
28			カモメ	2	68	ホオジロ	ホオジロ	28			
29			セグロカモメ	119	69		カシラダカ	4			
30			オオセグロカモメ	1	70		アオジ	51			
31			コアジサシ	17	71		オオジュリン	197			
32		タカ	タカ	トビ	2	種名特定できず				カモ S P	14
33				ツミ	1					ウ S P	1
34				オオタカ	2					サギ S P	2
35		ブッポウソウ	カワセミ	9	チドリ S P					3	
36	キツツキ		21	シギ S P	2						
37	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	10	カモメ S P					60	
38	スズメ	モズ	モズ	68	カラス S P					22	
39		カラス	オナガ	644	ホオジロ S P					2	
40			ハシボソガラス	975	確認種個体数合計（羽）				38,211		

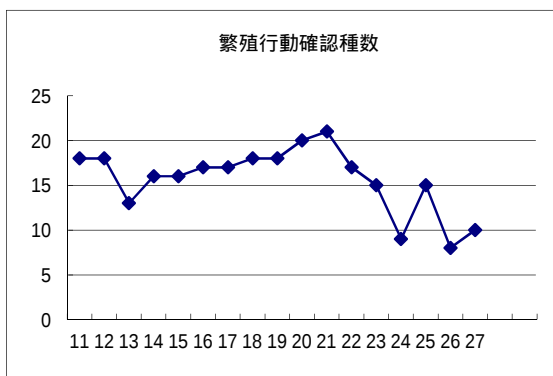
S P ...種名まで特定できなかったもの

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成27年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、10種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	アオサギ				○													
2	イソシギ			○								○						
3	イワツバメ	○	○					○	○	○	○	○	○					
4	ウグイス					○												
5	オオヨシキリ	○		○		○	○		○	○	○	○				○		
6	オナガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ	○										○						○
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	カウセミ		○										○					
10	カワラヒワ	○	○		○		○	○			○	○		●				
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
12	コアジサシ						○		○							○		
13	ゴイサギ		○	○	○	○		○		○	○	○	○	●				
14	コゲラ					○					○			●				
15	コサギ				○			○				○	○					
16	コチドリ		○				○			○			○	○				
17	ササゴイ							○	○	○		○						
18	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ		○	○														
21	チョウゲンボウ	○	○				○		○		○							
22	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ツミ															○		
24	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○		
25	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
26	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
27	バン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
28	ヒバリ	○						○			○		○			○		
29	ヒメアマツバメ								○	○								
30	ヒヨドリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
31	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	メジロ										○	○						
33	モズ	○																



「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの

平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと予想）

平成27年度報告書からは調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載

種名の網掛けは平成27年度に繁殖行動が確認された種

● = 幼鳥のみ

H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除

3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

ツミ（タカ目タカ科）

確認月：平成27年9月
地 域：Eブロック
区 分：その他

夏鳥または留鳥として北海道から琉球諸島までの平地から山地の林、市街地の公園の林などで繁殖。春や秋に各地で渡りが見られる。主に小鳥類や昆虫類を捕食する。近年、都市部での繁殖例が増えている。

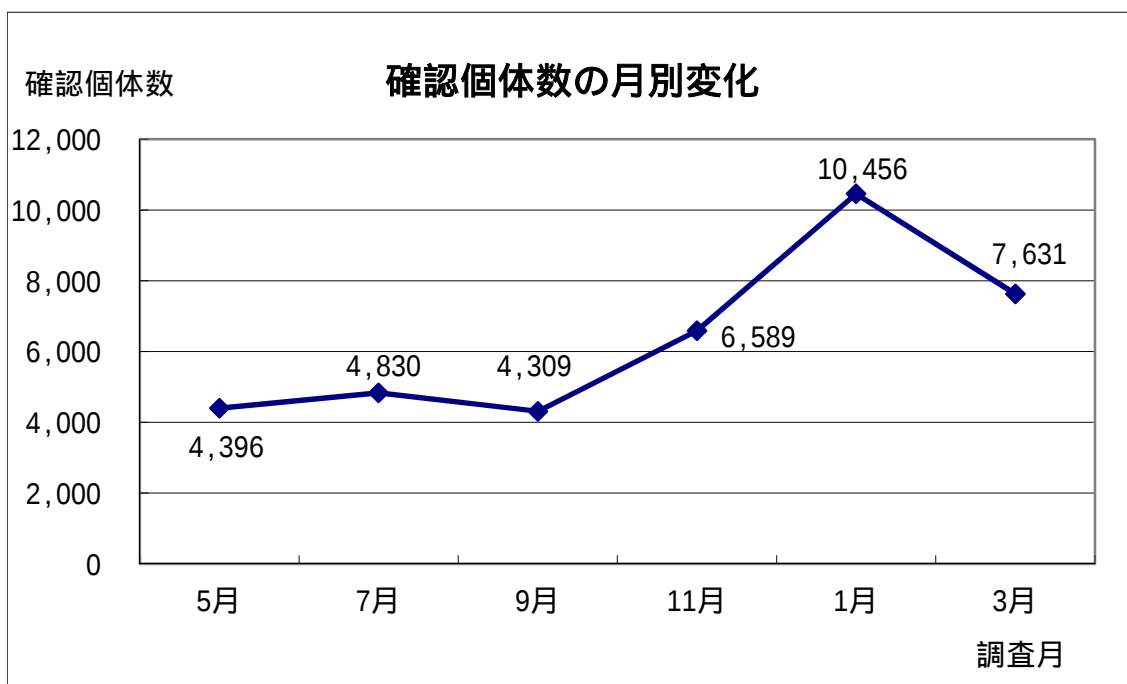
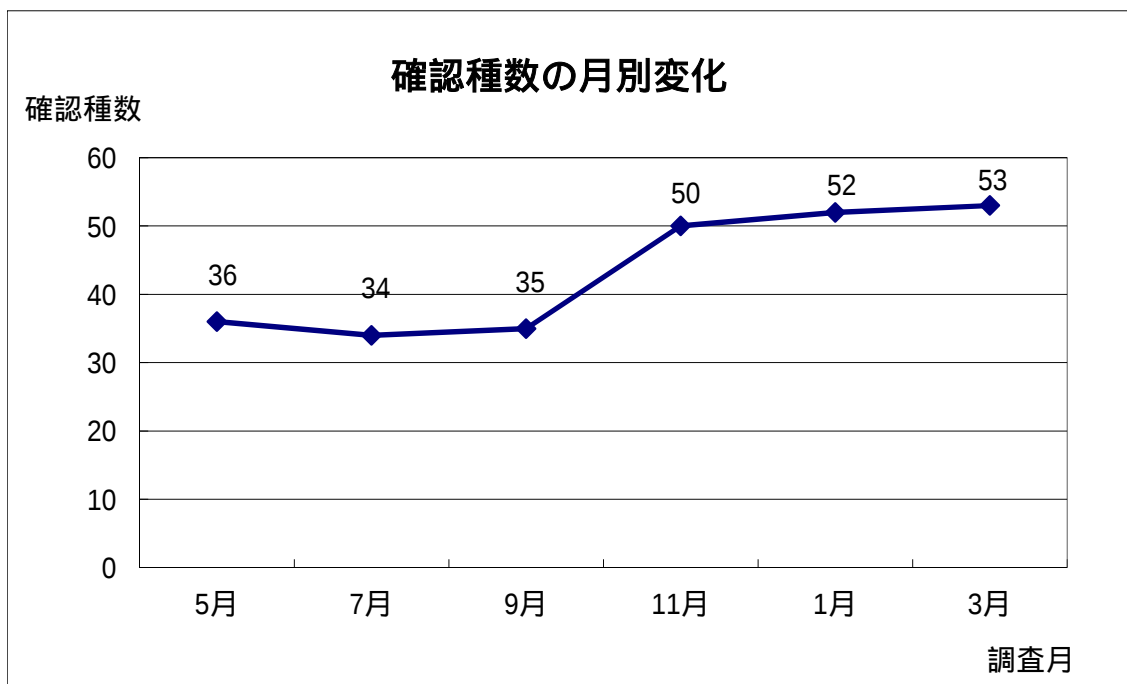
ハクガン（カモ目カモ科）

確認月：平成27年11月、平成28年1月、3月
地 域：Aブロック
区 分：川

数少ない冬鳥として渡来し、湖沼、河川、内湾に生息する。明治時代初期までは東京湾に大群が飛来。以降、渡来数は激減していたが、近年は増加傾向にあり、局地的に数十羽の群れが見られることもある。

（文章引用：決定版 日本の野鳥650（株）平凡社 2015年）

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

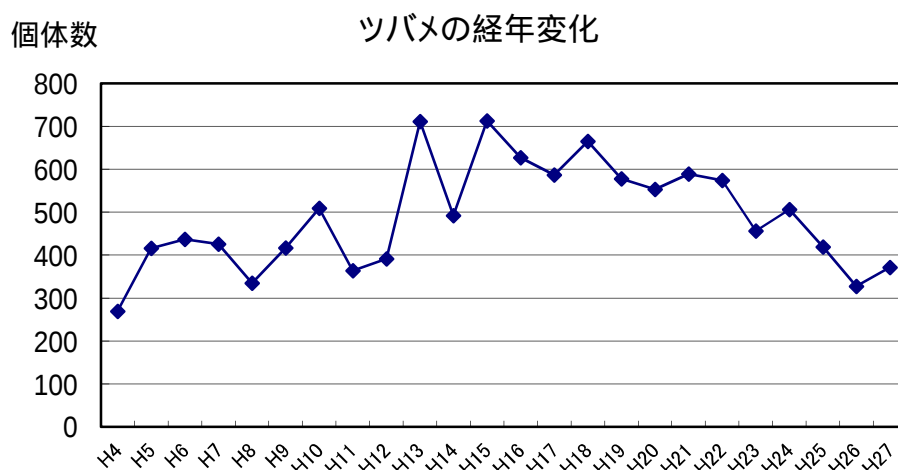
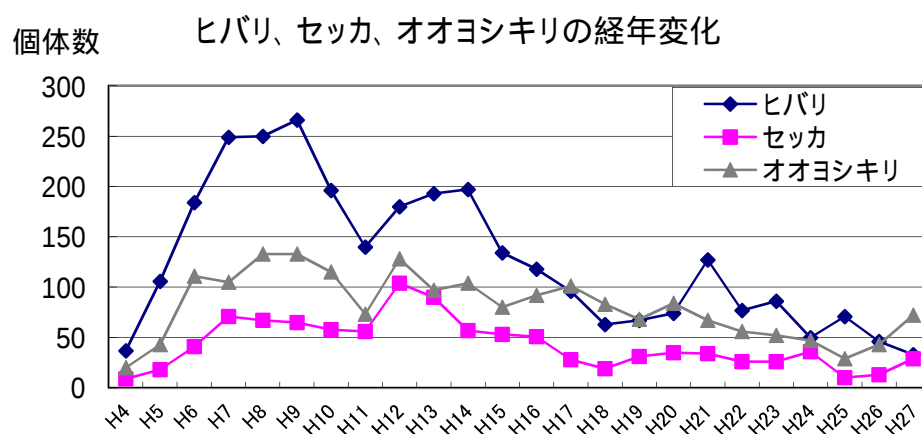
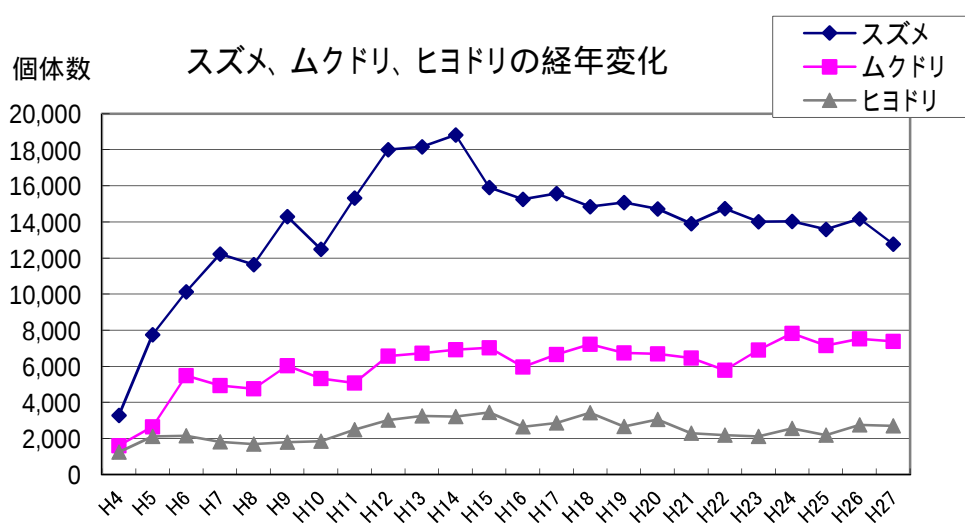
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,927	スズメ 1,865	スズメ 1,944	スズメ 2,252	スズメ 2,358	スズメ 2,433
2	ムクドリ 1,076	ムクドリ 1,576	ムクドリ 1,172	ヒヨドリ 1,149	カワウ 1,861	ムクドリ 1,155
3	ツバメ 171	ツバメ 188	ハシブトガラス 186	ムクドリ 927	ムクドリ 1,476	ヒヨドリ 609
4	ハシブトガラス 164	カルガモ 174	カルガモ 176	ユリカモメ 248	ユリカモメ 1,004	ツグミ 377
5	オナガ 145	オナガ 156	ハシボソガラス 164	ハシブトガラス 241	ヒヨドリ 697	ユリカモメ 333
6	キジバト 143	ハシブトガラス 146	オナガ 125	カワラヒワ 221	ヒドリガモ 476	カワラヒワ 301
7	カルガモ 128	ハシボソガラス 141	シジュウカラ 107	ハシボソガラス 198	カワラヒワ 385	ヒドリガモ 281
8	ハシボソガラス 121	ヒヨドリ 92	キジバト 89	ハクセキレイ 153	ハシブトガラス 212	ハシブトガラス 235
9	カワラヒワ 107	ウミネコ 78	カワウ、ヒヨドリ 69	ヒドリガモ 118	キジバト 210	ハシボソガラス 220
10	カワウ 79	キジバト 65		メジロ 115	オオバン 195	カワウ 203

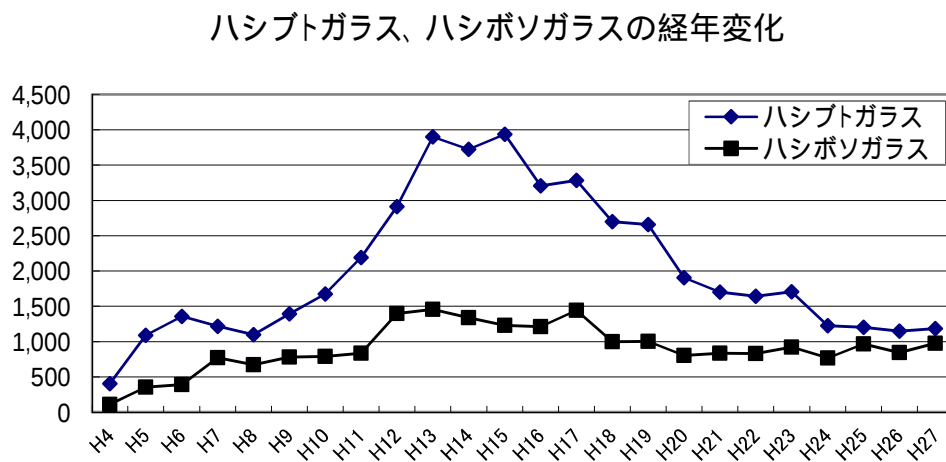
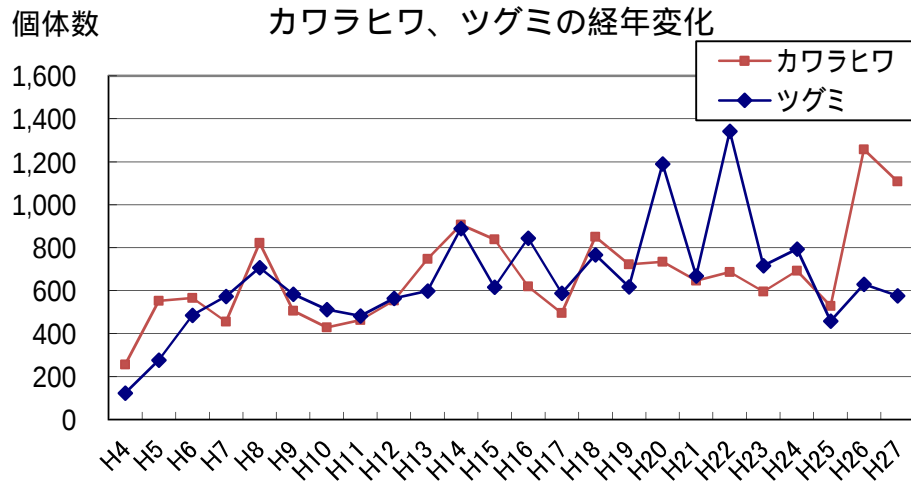
(2) 確認個体数ベスト10の経年変化

調査を開始した平成4年度以来、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。
平成27年度は、例年に比べカワウの確認個体数が多かった。
平成27年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、
31,809羽で、全体の約83%に相当する。

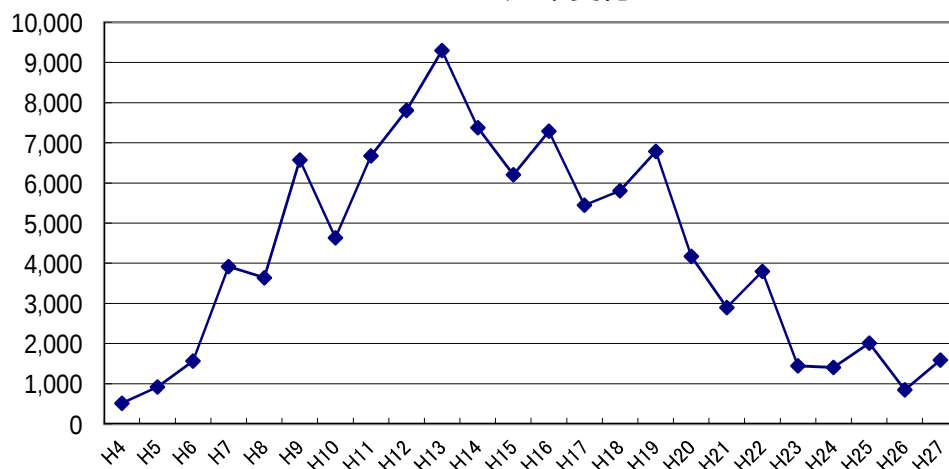
順位	種名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
1	スズメ	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779
2	ムクドリ	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382
3	ヒヨドリ	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689
4	カワウ	963	1,057	1,085	742	2,377
5	ユリカモメ	1,448	1,424	2,010	848	1,588
6	ハシブトガラス	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184
7	カワラヒワ	596	693	529	1,258	1,108
8	ハシボソガラス	922	912	965	842	975
9	ヒドリガモ	739	805	1,301	727	875
10	カルガモ	760	786	677	687	852
	合計	30,165	31,348	30,679	30,692	31,809

(3) 主な種の経年変化

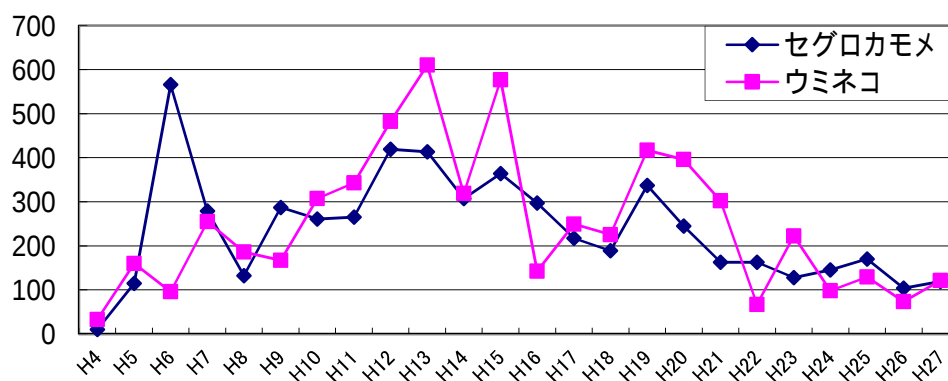




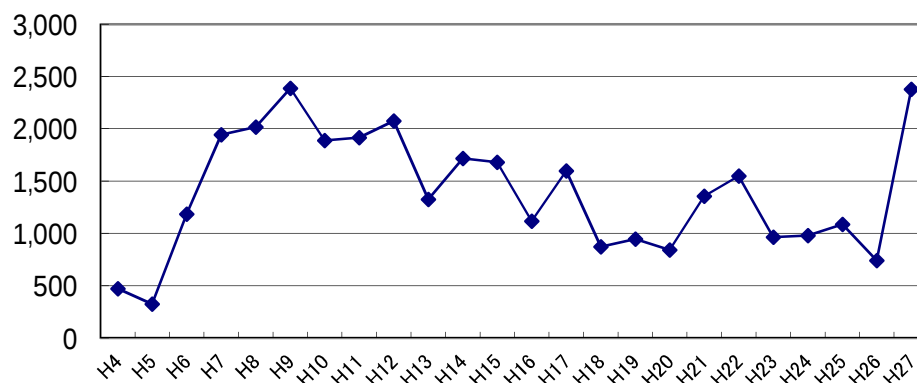
ユリカモメの経年変化



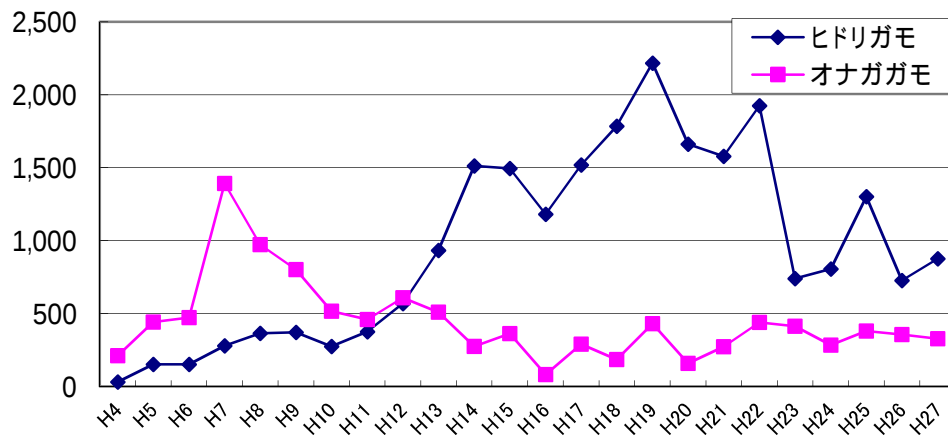
セグロカモメ、ウミネコの経年変化



カワウの経年変化



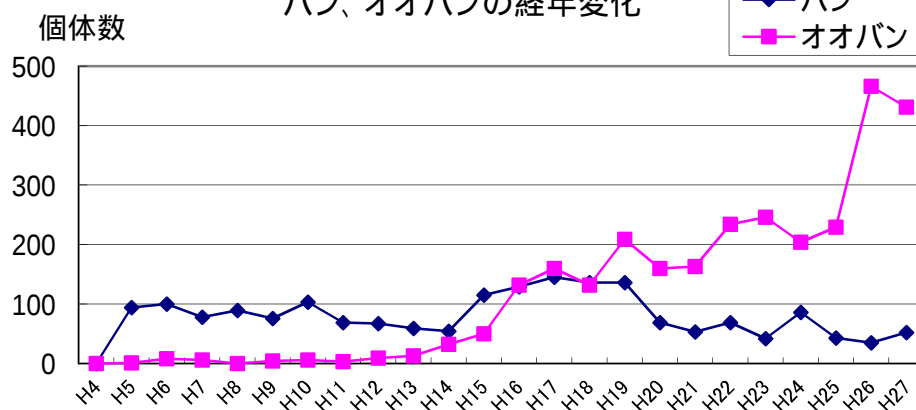
ヒドリガモ、オナガガモの経年変化



カルガモの経年変化



バン、オオバンの経年変化



平成 2 7 年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

目次

平成 2 7 年 5 月観察記録	15
平成 2 7 年 5 月繁殖行動確認	20
平成 2 7 年 6 月繁殖行動確認	21
平成 2 7 年 7 月観察記録	22
平成 2 7 年 7 月繁殖行動確認	27
平成 2 7 年 9 月観察記録	28
平成 2 7 年 9 月繁殖行動確認	32
平成 2 7 年 1 1 月観察記録	33
平成 2 8 年 1 月観察記録	38
平成 2 8 年 3 月観察記録	43

平成27年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	オオヨシキリ ツバメ セッカ	・快晴。河川敷は野球チームでにぎわっていた。 ・梅田の水門付近では、メタンがわき出るなど水質の悪化が見られた。 ・鳥影は薄かったが、オオヨシキリのさえずり、ツバメ、セッカの鳴き声が印象に残った。	Bブロック
3	ムクドリ カルガモ	・ムクドリ、巣材をくわえている。 ・カルガモの顔色は、現在同色でした。	Dブロック
4	オオヨシキリ ツバメ コアジサシ	・今日もオオヨシキリ、ツバメを確認。数は前に初確認したコアジサシを加え、今年も夏鳥3種を見られてよかった。本日15種観察。	Aブロック
4	キビタキ シギSP カイツブリ オオヨシキリ スズメ	・街中は休日の早い時間が人が少なくて良いようです。平日だと出勤する人などがいて気が引けます。 ・河川敷は休日の早い時間は良いですが、7時を過ぎると野球、ランニングで人が多くなり条件が良くないようです。 ・キビタキは声とシルエットで判断しました。千住5丁目の名倉医院さんの木立の中です。渡りの途中かな？ ・シギSPは嘴が長く下にカーブしており、ハトとカラスの間の大きさぐらいと判断しました。チュウシャクシギのように思います。 ・カイツブリは声を微かに聞いただけではっきりしません。 ・対岸（右岸湾処）からオオヨシキリのsongが聞こえました。 ・学びピアのドーム状の屋根の下あたりにスズメが出入りしています。営巢してるか？パンくずをまく人がいてスズメが集まっています。 ・この調査中にドバトをざっと数えました。120以上です。	Aブロック
6	スズメ	・五月晴れのすっきりした朝です。然し例年通り鳥数は少ないです。 ・ベルmont公園の池のほとりにたたずんでいると、ふくよかなスズメ達が集まって来ます。餌のおねだりでしょうか。 ・愛おしさと共に心配が交錯した一時でした。	Dブロック
6	ツバメ	・5/7 中川・飯塚橋上流側で3羽のコアジサシが飛んでいました。今年も来てくれたのが嬉しいです。 ・2～3年前から、ツバメを見る事が多くなりました。巣の場所はなかなか確認出来ないのですが。	Eブロック
8	コムクドリ	・コムクドリ。春の渡りでは、はじめての記録です。飛んできて電線に止ってくれた。♂の成鳥でした。 ・ツバメ。3月・4月は街中や水辺で見かけていたが、調査日は全くなかった。	Eブロック
8	ハシボソガラス	・荒川の土手はシロツメクサ、ムラサキツメクサなどなどでお花畑となっていました。 ・鳥についてはこの時期を考えればそれなりの種類と数が確認できたと思っています。 ・江北橋と扇大橋のほぼ中間の河川敷にある電鉄塔（千代田線）にハシボソガラスの巣が2個あり少なくとも一つはただ今使用中という事が確認できました。 ・江北橋の耐震工事は来年の3月までかかるそうです。	Bブロック

平成27年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
9		・曇り空、湿気を帯びた少しひんやりする感じの空気。土曜日のせい か、普段より静かな感じ。 ・朝5時過ぎに暫く鳴いていたカワラヒワを見つけることができな かった。最近朝6時ごろ近所の神社で頂上付近で動いている姿を見て いるのだが、探そうとしても姿だけでは逆光で他の鳥と区別がつか ぬ。 ・シジュウカラも声が聞こえなくなった。子育て中かも知れない。 ・桜も、ハナミズキも葉が大分大きくなっている所へ、ツツジが満開 でそろそろ皐月が咲き始めている。 ・葉虫が増殖中だが小鳥にとってはうれしい時期なのかも知れない。	E ブロック
9		・ジョウビタキ、ツグミ、ヒドリガモ等、冬鳥は帰ってしまいました。	E ブロック
9	ダイサギ カワウ コサギ オナガ	・曇天～小雨、風はほとんどなし。 ・千住桜木町信号～帝京科学大学（隅田川河川敷）～千住桜木一丁目 アパート～千住緑町～ポンテポルタ～千住宮元町～千住神社～墨堤通 ～千住桜木町信号のコース。 ・隅田川対岸にダイサギが複数観察された。カワウおよびコサギも観 察された。 ・千住神社内で神社の方にお話をうかがった（工事のためかいつ もくるウグイスがこない、わたりの季節に自分の後について歩く小鳥 がくる）。 ・オナガは千住神社で観察された。荒川河川敷に比べると鳥の種類と 数も少ない。	A ブロック
9	ムクドリ スズメ シジュウカラ コアジサシ カルガモ カイツブリ ツバメ	・風薫る5月。今朝は曇り空ですが、早朝の新鮮な空気を胸いっぱい に吸って調査を始めました。 ・シロツメ草のジュウタンを踏み締めながら、少しづつ歩き始めまし たが、思ったより野鳥の数は少なく、ムクドリ、スズメが目立ちま す。 ・シジュウカラのさえずりが聞こえますが、姿を捜すのにひと苦労。 ・キジバトの姿も少なく、今朝は少ない調査日かなと思いながら空を 見上げればコアジサシが2羽、競技場上空でたわむれていました。 ・大池では、カルガモがヒナを連れ、移動をしています。その数5 組。 ・カイツブリのヒナも大きくなりましたが、まだ親が取った餌をね だっています。 ・ツバメの数が例年よりかなり少なく、又オオヨシキリの鳴声もまだ 聞こえません。この夏ちょっと心配です。 ・調査外の5月16日、舎人公園でホトトギスが鳴いていましたが、こ の1日だけでした。	C ブロック
9	スズメ ムクドリ オオヨシキリ	・小雨の中、スズメ、ムクドリは多くいました。 ・スズメは虫のようなものをくわえ、ムクドリは乾いた草花をくわえ て慌ただしく飛んで行きました。 ・時おりオオヨシキリの元気な声も聞こえ、のどかな良い季節を感じ ました。	B ブロック

平成27年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
9	チュウシャクシギ コアジサシ ツバメ	・西新井橋近くの木工沈床にチュウシャクシギ、西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の上にコアジサシがいた。 ・西新井橋横の野球場につがいらしいツバメが降りていた。尾の長い雄と思われる方が巣材の枯れ草を集めてくわえ、雌と思われる方がそれを見守るようにしていた。 ・堤防工事が終わり、アシ原にあった工事詰所や鉄板が撤去された。	Bブロック
10	ツバメ コアジサシ	・青空の中、ツバメがスイスイ飛んでいます。期待していた、コアジサシも観察できました。 ・民家のガレージの天井の梁に、ツバメの巣を見つけました。親ツバメが卵をだいています。無事に育ってほしいと思います。	Eブロック
10		・荒川の土手斜面は草刈をした後で、枯草がおいてあった。ヒバリの声はない。	Aブロック
10		・毎年確認できるオオヨシキリ、セッカが減少傾向に感じる。当日は確認できず。	Bブロック
10	ヒバリ	・ヒバリの声はいつ聞いてもいいものです。	Aブロック
11	ムクドリ ヒヨドリ ハシブトガラス スズメ	・ムクドリが枯れた芝の葉をクチバシいっぱいになるまで集めている。 ・ヒヨドリは一定の節回しで鳴いている。あれが囀りなのだろう。 ・街路樹の下でメモをとっているとハシブトガラスがすぐ隣の街路灯にとまって不審者（私）への職務質問を始める。みんな子育ての態勢に入っているということか。 ・スズメも草の種拾いより枝先の若葉あたりでホバリングしているのが目につく。標的を虫に切り替えているようだ。もうヒナが生まれているのだろう。	Aブロック
12	ムクドリ キジバト	・ムクドリは、体と同じ位の大きさのものを持って歩いて行った。 ・キジバトは、我家のわずかなしげみから番で飛び立って行った。別の日、長い枝をくわえて私道を歩いていた。	Cブロック
12	ダイサギ	・台風6号接近の日でした。スタート後、風が強くなり中断を考えましたが実施しました。 ・カモ、バンの姿がなく淋しい毛長川でしたが、久し振りにダイサギを見ることができました。	Cブロック
12	ハシブトガラス ツバメ	・ハシブトガラスのカップルが巣づくり中。 ・鳥が少なかった。ツバメ、カラスの巣づくり。	Eブロック

平成27年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
15	ハシブトガラス	・繁殖のシーズンで、確認された種は5と少なかった。 ・ゴミ出しのマナーが悪く、ハシブトガラスの群に荒されていました。 ・足立区内唯一の田んぼがマンション建設となり、さびしくなります。	Dブロック
15		・確認種8、個体数52は妥当な成果だと思います。 ・民家の庭の草花がきれいで、特にバラが目立ちました。	Dブロック
17	キジバト オナガ オオヨシキリ	・キジバト1羽柳原稲荷の御手洗場で水を飲んでいた。 ・千草園で1羽のオナガが警戒か威嚇かの鳴き声が激しいので注意して見ると、猫が一匹6mぐらいの高さにいた。 ・オナガは樹の左右をいったりきたりして鳴いている。猫は降りられないのかじっとしていた。 ・10分ぐらいしただろうか、オナガは飛んでいってしまった。 ・堀切橋近くのヨシ原（荒川右岸）にかろうじて1羽のオオヨシキリの鳴き声を聞く。	Aブロック
17		・「カラスに注意！」の張り紙のある楠木を見上げると、黒い頭が2つ見えたが幼鳥の確認は出来なかった。	Dブロック
18	コチドリ	・木々の葉が繁り観察がむずかしくなった。 ・しょうぶ沼公園：高い声で、かぼそく鳴く声が聞こえたが種名が分からなかった。 ・その他：我家の前で区画整理の工事が行われている。その上空をコチドリが鳴き飛びまわっている。	Eブロック
18	スズメ ムクドリ オオヨシキリ	・調査地域が広いので、2時間では回りきれませんでした。市街地小台2丁目付近ではスズメ・ムクドリぐらいで荒川商業高校裏にはかなり集中して見る事が出来ました。 ・河川敷 江北橋間の芦原ではオオヨシキリが多数囀っていました。 ・担当地域外ですが、帰宅途中鹿浜橋付近でチョウゲンボウ2羽がホバリング→滑空を繰り返しているのが見られました。	Aブロック
22	スズメ ムクドリ キジバト オナガ ツバメ ハクセキレイ シジュウカラ	・環七沿いの通りに面したところは、車の騒音がひどく鳴き声が聞き取りづらかった。 ・先月下旬はたくさんいたヒヨドリが全く見られなかった。 ・桜の枝にいたスズメとムクドリは桜の実をついばんでいた。 ・ムクドリとキジバトは大体が地面をつついて歩行していた。 ・オナガは高い木の上を移動しており、2羽互いに「ギーッギーッギ」と鳴き合っていた。 ・ツバメは空中を飛行する姿が見られた。 ・ハクセキレイはコンクリートの道を歩行していた。 ・シジュウカラ(オス)は1羽しか見つけられなかったが、目立つ場所ですっとさえずっていた。見えないだけで、他にもいるかもしれない。 ・カラスは鳴きながら飛んでる姿を確認。 ・枯れ草をくわえているムクドリがいたが、巣を作っているのか？ ・ドバトが飯塚橋の下に群れ(30羽前後)になっていたが、ドバトは数に入れるか分からなかったの、入れなかった。 ・オナガとキジバトとカラスはほぼ2羽ずつ行動していた。	Eブロック

平成 27 年 5 月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
23	ムクドリ	・民家の2階の戸袋で子育て中のムクドリを見た。人が見えていても親2羽がエサ運びに夢中だ。周囲がフンで汚れていたが、住民が暖かく見守っていた。 ・近くにビワの実が熟れはじめていた。	E ブロック
23	イソシギ	・イソシギと同じ場所にチュウシャクシギとおぼしきシギを観察。イソシギの倍ほどの大きさだったが、特定するには少し遠かった。	C ブロック
23	スズメ ユリカモメ ムクドリ オオヨシキリ	・歩いていると電柱の付属品からスズメの雛の声が聞こえてきます。もうすぐ巣立ちなのだと思います。 ・この時期見られる鳥はユリカモメを除いて繁殖行動に入っています。今日は巣立ち雛を見ませんでした。親はエサ運びに必死でした。 ・河川敷で赤い実を付けているクワ（またはヒメコウゾ）の実をムクドリが盛んについばんでいました。 ・ネコの餌があちこちに置いてあって、ネコが増えています。そのせいかどうかわかりませんが、地上に営巣する鳥（ヒバリ、セッカなど）をめっきり見なくなりました。 ・その代わりここ数年この地区で見なくなっていたオオヨシキリが元気に鳴いていて安心しました。	A ブロック
23	ツバメ	・島根では、めったに見なかったツバメを観察出来ました。巣は、発見できませんでした。 ・カラスが、子育ての時期か、朝から騒いでいました。	D ブロック
24	スズメ ムクドリ シジュウカラ	・スズメやムクドリがかなり行動的になって、巣材などを咥えているのを見かけました。 ・シジュウカラの雄が大きな声で、頻りに鳴いている姿がとても印象的でした。	C ブロック
24	ムクドリ キジバト オナガガモ	・公園から虫を咥えて、住宅の方に飛んで行ったムクドリは子育てしてるのでしょうか。 ・小枝を運んでたキジバトは巣づくりしてるのでしょうか。木の葉が繁り巣は見えなかった。 ・右の翼が傷んで帰れなかったオナガガモが居る公園の池。 ・「近日中撤去します」の張り紙のある大きな樹の上にカラスの巣があった。2カ所。	E ブロック
28	ムクドリ	・随所にムクドリの営巣有り。忙しく餌を運ぶ親鳥の姿を見かけ、餌を求めるヒナの鳴声が聞こえる。	D ブロック

平成27年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
3	ムクドリ	2階の戸袋	抱卵中か、雛の声は聞こえない。	Dブロック
6	オナガ	ベルmont公園	複数の幼鳥が飛び回っていました。	Dブロック
6	スズメ	大谷田	巣への出入り。	Eブロック
6	ムクドリ	大谷田	巣への出入り。	Eブロック
6	ハシボソガラス	大谷田	木上の営巣。	Eブロック
8	ハシブトガラス	堀川沿いのけやき	抱卵している。	Eブロック
8	スズメ	民家の鉄パイプ	頻繁に出入して、鉄パイプや下が汚れている。	Eブロック
8	ムクドリ	民家の戸袋	巣材を運んでいる。(調査日) 後日、餌を運びヒナの鳴声。	Eブロック
9	カルガモ	舎人公園大池	親が雛を連れ、移動している。	Cブロック
9	カイツブリ	舎人公園大池	雛への給餌行動。	Cブロック
17	スズメ	電柱配電BOX	数カ所で雛鳥のさえずり。	Bブロック
18	スズメ	加平1丁目 電柱2カ所	ヒナの鳴声、スズメの巣への出入り。	Eブロック
18	スズメ	加平1丁目 工場	ヒナの鳴声、スズメの巣への出入り。	Eブロック
23	シジュウカラ	北加平	ブドウ柵のまわりに営巣。	Eブロック
23	ムクドリ	北加平	戸袋の中に営巣。	Eブロック
23	ハシブトガラス	雪見公園	二つ巣を見つけた中にヒナが居る様子はなかったが、二羽のカラスが威嚇しつづけていた。	Eブロック
23	ムクドリ	鹿浜橋 橋ゲタ	親鳥の餌運びと雛の鳴声。	Cブロック
26	スズメ	西新井栄町2丁目 関原3丁目	電柱の機械・ケヤキのうろの中へ餌運び。雛の声、成鳥が幼鳥へ餌を与える。	Bブロック
26	ムクドリ	小学校跡地公園	草(巣材)を運ぶ。	Bブロック
28	ムクドリ	元湊江公園	柳の木の下の中、親鳥に餌を求めるヒナを目撃。	Dブロック
28	カルガモ	元湊江公園	池面に9羽のヒナを連れて泳ぐ親鳥の姿を見た。	Dブロック
28	ムクドリ	保木間内民家、倉庫	数軒の家の軒下で餌を運び込む親鳥を認めた。	Dブロック

平成27年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
28	スズメ	保木間内民家、倉庫	数軒の家の軒芝に餌を運び込む親鳥を認めた。	Dブロック

平成27年6月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
11	カルガモ	公園の池	8羽の雛を連れ泳いでいた。	Eブロック

平成27年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	ムクドリ オオヨシキリ	・ムクドリが河川敷のいたるところでみられた。 ・オオヨシキリ3羽がとなりあった柳の木、そのごく近くのあし原でさえずっていた。こんなに密集しているのはめずらしい。一方、他のあし原ではさえずりは全くなかった。 ・他日、オナガがカラスに対してモビングしていた。近くに巣があるのだろうか。	Aブロック
7	オオヨシキリ ツバメ スズメ	・曇り。オオヨシキリのさえずり盛ん。 ・ツバメの給餌、スズメの砂浴び、アジサシ系の急降下観察。 ・ハトより小ぶりでややスマートなギイギイ鳴く正体不明の鳥がいた。荒川には50センチぐらいの草魚？が数体浮いていた。ゴミの漂着多し。	Bブロック
10	カワウ	・梅雨の雨空が続く中の晴れ間を狙ってのモニターでしたが、この季節としてはまああの種類と数が観察出来たと思っています。 ・ボラの子供が群れを作って泳いでいる割にはいつもよりカワウが少なかった感じがします。 ・河川敷の鉄塔下の池？でウシガエルの声も聞こえて、のどかな観察日和でした。	Bブロック
11	ムクドリ スズメ	・久し振りに晴れて、暑い日になりました。 ・いつもムクドリ、スズメが群れているゴルフの打ちっ放しの鉄塔に、今日はほとんど鳥が見られません。どうしたのでしょうか？ ・5月に見つけたツバメの巣は、人の手で取りのぞかれていました。残念です。	Eブロック
11	カルガモ ハシボソガラス ヒヨドリ	・1時間ほど遅く出たが、様子は普段とあまり変わらず。湿度が高く、日が差すと蒸し暑い。早く出た方が良さそうだ。 ・カルガモのヒナが池の岸辺の草むらで休んでいた。しばらく見てみると、親が池から上がって来て近くで、辺りを警戒するように首を伸ばして坐っていた。ひと月ほど前4羽のヒナを連れていたのだが、1羽になってしまったようだ。 ・別の公園では、ハシボソガラスの親子らしいのが居て、2羽が口をあけて、親から餌をもらっていた。食べ終わると、親がくわえた次の獲物をねだって、2羽がギャーギャー鳴きながら、親の後を追いかけていた。 ・暑くなってきた帰り道、アンテナに止まってピーッと鳴くヒヨドリを見て終了。	Eブロック
11	アオサギ	・干潮で荒川の干潟が大きく露出していたのに、いたのはアオサギだけでした。 ・鳥の代わりに夥しい数のベンケイガニがうごめいていました。 ・桜木2丁目団地の桜の茂みの中でゴマダラチョウを見つけましたが、僕は当地で初めて見ました。	Aブロック

平成27年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
11	スズメ ムクドリ キジバト メジロ ヒヨドリ カルガモ	・連日の雨空も上り、真夏の太陽が朝から照り、つゆ明けを思わせる今朝です。 ・草は大きく成長し、その草はらの中に、スズメやムクドリが入りこんでいます。静かに見えますが、草の中では、各生物の懸命なる生命の営みが、繰り広げられているのでしょうか。時々飛び上っては、又草の中に、何羽いるのかは見られません。 ・キジバトの個体数が、2羽と思っていたより少なく不思議に思いました。 ・この時期に、メジロが3羽見られました。 ・オオヨシキリは、今朝の調査日にも鳴かず、見られず。 ・ヒヨドリの幼鳥が、親から餌をねだり、もらう姿が見られました。 ・カルガモを数多く、確認しました。 別記 ・アイガモ約30羽の中に、白色が1羽います。又ヒナ約20羽は全体的に白っぽいクリーム色です。 ・ドバトは約85羽。概略で数にしてみました。	Cブロック
11	カルガモ	・カラスのごみ荒しが、あちこちで見られた。ネットを破るのである。 ・川には、亀がスイスイ泳ぎアメンボが多数浮いて平和そのもの。 ・同じ川の先のそこかしこに親子連れのカルガモが4組もいて梅雨晴れの朝を更にのどかにしていた。	Cブロック
11	スズメ イワツバメ アオサギ	・久しぶりの青空です。 ・スズメは小さめで、可愛い姿を多く見る事ができました。 ・イワツバメは同じ場所をくり返し飛び交っていました。 ・アオサギは6羽ならんで飛んでいきました。数の多さに感激しました。	Bブロック
11	ツバメ	・工務店の車庫内に毎年ツバメが営巣します。調査日には、もう巣立っていましたが、今年は3羽のヒナが無事巣立ったとの事です。 ・もう一軒車庫内の電燈笠に営巣しているツバメは、大きくなったヒナ1羽がまだ巣の中におり、1羽が近くの電線に止まっていました。今日が巣立ちの日ようです。	Eブロック
11	ムクドリ オナガ	・川は、拘置所脇水路。 ・ムクドリがオナガを追払っていた。 ・今朝は、数日来の雨がやみ、気温が高く、湿度が高い日です。 ・五反野コミュニティセンターの水路ではカルガモの産卵が今年はなかったと、近所の人の話。 ・今年初、クマゼミの声、一瞬。聞きちがえでないと思う。	Dブロック
12	スズメ ムクドリ	・梅雨あけ間近を予感させられる青空の中、鳥の数、種類共に少ない朝でした。 ・ベルモント公園の芝生の上、スズメの幼鳥が飛び交い、又親鳥がみつめる中、幼ムクドリ達が芝をついばむ光景が楽しめました。	Dブロック

平成27年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
12		・六木3丁目のお宅のツバメは毎年巣作りには来ていたが、近年は失敗したりカラスに襲われたりしていた。今年も3月末頃から姿を見せていたが、定着出来ず5月にはいなくなっていた。 ・6月中頃からまた姿を見せ、卵が1個落ちたりしていたが2羽が巣立ち間近です。（今日12日午前10時頃巣立ったそうです）	E ブロック
12	ツバメ	・（個人的感想ですが）今年はツバメの数が少ないと思います。 ・ところで、五反野駅では今年も1組のツバメのツガイが子育てし、6月末頃無事5羽のヒナが飛びたって行きました。	A ブロック
12	スズメ キジバト ツバメ	・スズメが電柱変圧器の下、親子か？ ・清亮寺：キジバトが小枝をくわえている。 ・河川敷：グラウンドに4羽ツバメがまとまって止まっていた。 ・ハクセキレイの声を聞いたようだが未確認。 ・風向風力は千住新橋の風向計を見て。 ・区域外だが、この6月から7月千寿双葉小玄関にツバメが営巣して4羽くらい雛が巣立った。 ・千住新橋左岸上流側の芦原でここ3年セッカのsongを聞いていたが、今年は聞いていない。	A ブロック
13	スズメ ヒヨドリ ムクドリ オナガ シジュウカラ	・スズメの声だけが元気に響いている。巣立ちヒナと親が鳴き交わしているのだろうか。それとも今期2回目の繁殖行動なのだろうか。 ・葉が茂ったせいもあるかもしれないが、他の鳥はほとんど姿が見えない。騒々しいヒヨドリやムクドリの声も時折聞こえてくるだけ。 ・そういえば、やっとみつけたオナガもいつものグーの声をほとんど出さず茂った枝の中で静かに潜航している感じだ。 ・シジュウカラは灰色味が強く今年生まれの若鳥の可能性が高い。	A ブロック
13	スズメ ムクドリ カルガモ	・2ヶ所で子雀の砂浴びを見た。この暑いのに水浴びが良からうに。 ・5月同様、スズメもムクドリも幼鳥が多かった。 ・子育て中の親カルガモが（聞くところによると）棒でたたかれ右足が曲る傷にも負けず、8羽の幼鳥と共に行動している。 ・例年5月に孵化するカルガモ、今年は遅いと思ってたら池の掃除の時、抱卵中のカルガモが驚いて巣を放棄したと聞きました。	E ブロック
15	オナガ	・土手の桜並木の枝先にオナガの巣、幼鳥3羽確認。 ・河川敷のヨシ原でのオオヨシキリ確認出来ず。 ・河川敷で“タヌキ”発見。	B ブロック
17	ツバメ	・アオスジアゲハが公園の砂地に吸蜜管をさし込んで、ミネラル補給中。 ・台風が去り、曇りだが風が強い。ツマグロヒョウモンの雄が花のまわりを乱舞していた。 ・ツバメが、負けずに勢い良く飛び回っていた。 ・高速6号線の耐震工事のため入れず綾瀬川の調査出来ず、鳥数は少なく終わった。	E ブロック
18	シジュウカラ	・台風の影響で風が強く鳥の声が聞きづらかったです。お天気でした。 ・シジュウカラの幼鳥がいました。	E ブロック

平成27年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
18	ウミネコ メダイチドリ	・西新井橋横のグラウンドにウミネコが集まっていて、芝生の上で休んだり、何かをついばんだりしていた。 ・西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の上にメダイチドリがいた。	Bブロック
20		・昨日（19日）が梅雨明けとなり朝から暑い調査となった。	Eブロック
20	ツバメ スズメ	・柳原2丁目15の民家の使われなくなった車庫にツバメの巣があったが、雛は確認できず。民家の前の電線に2羽とまっていた。 ・荒川右岸河川敷のかわいた土で2羽のスズメが砂浴びをしていた。	Aブロック
20	カルガモ	・初めての調査区域だったので、助手（娘）を1人つけて地図と照し合せながら回りました。 ・7時頃には、せみが一斉に鳴き出し、鳥の声を聞き取るのに必死でした。 ・水鳥は、桑袋ビオトープ公園の池にカルガモのつがいがいただけでした。	Dブロック
20	カワラヒワ アオサギ スズメ	・帝京科学大学から隅田川沿いに進み、緑町から千住大橋まで移動、スポーツ公園から千住神社へ、墨堤通りに出て帝京科学大学まで戻りました。 ・晴れ。微風。台風通過後数日蒸し暑かったです。報告会で話題になったのでカワラヒワを気にしていましたがほとんどいませんでした。 ・隅田川対岸にはアオサギが数羽いました。橋戸町付近の隅田川近くの空き地（草むら）にスズメが20cmほどの草に隠れるように群れていておもしろかったです。 ・9時を過ぎると暑さがきつく、鳥が少ないように感じました。千住神社も静かでした。 ・担当区域内ではムクドリも見かけませんでした。アオスジアゲハ他チョウが目立った日でした。	Aブロック
21	シジュウカラ	・シジュウカラ4～5羽が集まってにぎやかだ。原因はくわえてきたセミの幼虫を落としてしまったことらしい。 ・近づいて見ると土中から出てきたばかりのミンミンゼミで、まだごろんとした重みがある。しばらくすると、シジュウカラが飛んできてセミの幼虫はなくなっていた。 ・午後7時10分ごろムクドリ約250羽が江南公園を塹にしていたが、なぜか2～3日で中止。このころハシブトガラスの幼鳥2羽が甘えた声で親に餌をねだっていた。警戒したムクドリたちは場所を変えたりしい。	Aブロック
21	カイツブリ	・連日の暑さのためか、鳥の影が非常に少ない。5月の調査時にあれだけ多数いたオオヨシキリも1羽も見かけない。川もゴミが多くカイツブリが4羽見られただけ。 ・河川敷をあきらめ、前回鳥影が多かった隅田川ぞいの荒川商業高校付近に行ってみると前回と同じ様に何羽かの鳥影を見る事が出来た。 ・しかし、鳥が少なく、少々ガッカリとした今回の調査でした。	Aブロック

平成27年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
21	ムクドリ ハシボソガラス	・朝から暑過ぎるせいか、ムクドリが全く目に入らず不思議でしたが、最後に姿を確認でき落ちつきました。 ・氷川神社では、幹の根元をつつくハシボソガラスを珍しげに見ていたら、羽根をふるわせ、赤い口を開けて餌のおねだり。カラスの給餌行動、初見でした。	Cブロック
24	ムクドリ	・暑さのためか、鳥の数、種類とも少ない様に思う。 ・公園にムクドリだけは、エサを元気についばんでいた。	Dブロック
26	オナガ カルガモ	・暑いので少し早めに出ましたが、6時にはもう賑やかなセミの音が響き渡ってました。それに負けじと「ギーギー」とオナガが、騒々しく飛び交ってました。 ・毛長川のゴミの溜りにカルガモがいました。花畑大橋の真上をカモメが群れ飛んで行きました。	Dブロック
26		・早朝からミンミンゼミの元気な鳴き声、一方、暑さのためか野鳥の声はほとんど聞こえてこない。 ・それでも9種が確認できたのは、真夏の調査成果としてはまずまず。	Dブロック
26		・真夏でも最も暑い時期で、さびしい成果でした。	Dブロック
26	ムクドリ オナガ	・ムクドリの幼鳥がまだ親にえさをねだる姿をアチコチで見かけました。 ・オナガは巣作りに忙しく、しきりに素材を運んでいる姿が見られました。	Cブロック
30	ムクドリ	・中川公園付近を観察しました。暑いせいか、鳥の鳴き声はしても日向にいなかったりして、木の枝に隠れて涼んでいるような感じがしました。 ・ムクドリが圧倒的に集団で行動しています。虫をくわえているのがよく見られます。雛もだいぶ大きくなって大人と同じ大きさに成長しているようです。しきりに親の後を鳴いて追いかけています。	Eブロック

平成27年7月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
7	ツバメ	荒川河川敷	給餌を確認。	Bブロック
10	ツバメ	千住大川町	階段の踊り場で1羽の雛が巣から乗り出していた。	Aブロック
11	ムクドリ	鹿浜橋継ぎ目	親鳥の出入とヒナの鳴き声。	Cブロック
11	スズメ	千住桜木2丁目	幼鳥確認。	Aブロック
11	ムクドリ	千住桜木3丁目	幼鳥確認。	Aブロック
11	シジュウカラ	千住桜木4丁目	幼鳥確認。	Aブロック
11	スズメ	大谷田2～5丁目	電柱変電器の中に営巣3か所。	Eブロック
11	ツバメ	大谷田5丁目	住宅車庫内に営巣。	Eブロック
11	オナガ	大谷田2丁目	巣立ったばかりらしいヒナ4羽を連れた親子が移動中。	Eブロック
11	スズメ	大谷田公園	巣立ったヒナに給餌2組。	Eブロック
11	ムクドリ	大谷田公園	巣立ったヒナに給餌1組。	Eブロック
11	カルガモ	西沼公園	まだ黄色さが残っている雛がいた。	Eブロック
11	ハシボソガラス	北三谷公園	2羽の幼鳥が餌をもらったりねだったりしていた。	Eブロック
12	キジバト	清亮寺	小枝をくわえていた。	Aブロック
12	スズメ	千住5丁目	集団でいた。4～5羽中に幼鳥。	Aブロック
12	スズメ	ベルmont公園	幼鳥が芝生上を飛びかっていた。	Dブロック
12	ムクドリ	ベルmont公園	幼鳥が芝生をついばんでいた。	Dブロック
12	ツバメ	六木3丁目住宅	巣の中に2羽。	Eブロック
15	オナガ	堤防桜並木	オナガの巣に幼鳥3羽、親鳥2羽確認。	Bブロック
21	スズメ	電柱のトランス	親がえさを運び、雛の声が聞こえた。	Aブロック

平成27年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観 察 者 (敬称略)
4	ハシブトガラス	・千住仲町で見たハシブトガラス3羽は高いマンションの屋上や外階段の屋根にまとまっていた。姿は成鳥だが、鳴き声や餌の食べ方がややぎこちなく感じられた。きっと今年の若鳥兄弟なのだろう。 ・千住仲町の住宅密集地で、灰緑色でスズメより明らかに小さくずっと俊敏な飛び方をする鳥が、目の前を横切って住宅の庭に飛び込んだ。放置された感のある庭は廃材や草であふれており、どの隙間に飛び込んだか分からなかった。 ・色やサイズから考えるとメジロっぽいですが、一瞬のことなので自信が持てずリストには載せなかったが、夏の千住でメジロというのは私は聞いたことがない。記録があるかどうか千住在住の鳥博士に確認してみよう。	Aブロック
6		・夏場に比べて、野鳥が地面を歩く姿が少なかった気がする。調査用紙に記載した以外でも、鳴声が聞こえても、姿が見えなかったりした。	Dブロック
6	ムクドリ ハクセキレイ ヒバリ	・ムクドリが30羽以上の群をなし、方々で見られた。ある群は上空で飛び回り、又は木にとまっていたり、草を刈った土手でエサを探していた。 ・久しぶりに、ハクセキレイとヒバリを観察した。	Aブロック
6	スズメ	・今にも雨が降り出しそうな薄暗い朝、北の風、風力1、本日ドバト85羽以上。 ・河川敷のスズメは20羽、25羽、50羽と群れを成していました。内50羽の群れの中に1羽白い個体。 ・区域外の千住新橋上流側右岸コサギ1羽、カルガモ2羽。 ・千住新橋上流側左岸の蛇かごと杭のところにカワセミ1羽（8月28日の10：50頃、9月3日の16：30頃） ・8月30日の11：30頃、千住新橋上流側左岸上空トビ1羽fly。 ・今日は1羽もツバメを見かけませんでした。もう南へ帰ったのでしょうか。	Aブロック
6	カルガモ	・鳥少し、犬をつれた散歩者が多いせいか？いつもムクドリのいるエリアもさっぱりである。 ・カルガモだけが、自由に泳いでいた。	Cブロック
12	コサメビタキ	・秋の長雨、台風17号による記録的な豪雨。今朝は久しぶりに見た太陽からの光、しかし足元が悪くゴム長靴をはいての調査です。 ・お天気が良くなったので、鳥達も元気に飛びまわっているだろうと思いきや、意外と少なく期待はずれです。 ・舎人公園の大池も水量が多く、ヨシやガマ等の水辺の草の位置も変わってしまいました。 ・せめてもの慰めにと、あまり姿を見ることの出来ないコサメビタキに出会ったのが、印象に残りました。	Cブロック
12	カルガモ ハシボソガラス	・台風は去り、すばらしい青空にめぐまれました。 ・カルガモ、ハシボソガラスは多く見られましたが、ハクセキレイ、ヒヨドリは見当たりませんでした。	Bブロック

平成27年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
13	シジュウカラ スズメ オナガ	・梅島西公園芝生上のふっくらしたシジュウカラが新鮮です。 ・ベルモント公園の芝をついばむスズメの幼鳥達、昨年と同じ風景です。又、オナガのにぎやかな鳴声もうれしい朝でした。	Dブロック
13	オナガ	・虫の音の中の散策でした。確認種は非常に少なく淋しい調査に終わりました。 ・オナガのヒナが短いシッポと羽を震わせて親鳥に近づく姿は、微笑ましい光景でした。 ・帰り際には、賑やかに、ひぐらしが鳴いてました。	Dブロック
13		・歩き始めてず～っと、鳥の声も姿も見えない朝でした。半月位連日、曇/小雨続きの日々と数日前の台風の雨風でどこかへ避難したのかスズメ等いつも居る所に姿がなかった。観察場所の「川」は、東京拘置所脇の水路です。	Dブロック
14	ムクドリ	・悪天候が続いたためか、全体に数、種数とも少なかったです。 ・ムクドリの中に幼鳥と思われる個体が、含まれていた。	Dブロック
15	スズメ シジュウカラ ハシブトガラス ムクドリ チョウゲンボウ	・柳原1・2丁目の2本の桜並木道路と柳原稲荷神社の境内を回ってもスズメが少ない。 ・かろうじてシジュウカラ4羽、3羽のハシブトガラス、ムクドリ2羽と今までにない状態でした。 ・チョウゲンボウは河川敷上空をホバリングし堀切橋方面に飛翔していった。 ・左岸（調査区域外）に、ダイサギ1羽確認。	Aブロック
15		・鳥影薄し。土手でドバトに餌やりをしている人がいて、周囲に50羽ほど群がっていた。	Bブロック
16		・早朝、曇り空、気温19。 ・7月確認したセッカ見られず。	Bブロック
16	スズメ	・他の月に比べ、鳥の数も種類も非常に少なかった。 ・建て替えのために立ち入り禁止になっている都営住宅敷地に、20羽ほどのスズメの群れがあり、草の種子を食べていた。	Bブロック
19	コゲラ ヒヨドリ	・コゲラがドラミングしていました。 ・ヒヨドリがエサを落としかけて、空中でキャッチしていてすごいと思いました。 ドラミング...声以外による鳥同士のコミュニケーションの方法。なわばりを知らせたり求愛の意味で行われることが多い。くちばしで木をたたき「タラララ...」という連続音を出すキツツキの仲間のように、美しいさえずりを持たない野鳥に見られる行動。ヤマドリの翼を打ちつけて「ドドド...」という音を出す行動（ホロを打つという）、コウノトリやアホウドリなどのくちばしを「カタカタ...」と鳴らす行動（クラッターリングという）を含むこともある。（「野鳥を楽しむポータルサイト BIRD FAN 野鳥ことば事典」より引用）	Eブロック

平成27年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
19		調査地域以外のことについて ・我家周辺（土地区画整理事事中）で見られた「コチドリ」が7月以降見られなくなった。 ・9月12日（土）家にいて「モズ」の高鳴を聞いた。	Eブロック
19		・長く続いた雨が止んだと思ったら、季節がすっかり秋に変わってしまった感じ。気温21度程度で、久しぶりの朝日がまぶしい中、コオロギの声を聞きながら出発。 ・草叢の中は昨晚までの雨の露がいっぱいで小鳥の姿見えず。 ・6時半前、ラジオ体操会場の公園近くで40羽ほどのドバトにパンを与えている人達を見た。 ・彼岸花が一斉に咲き出す中、金木犀の香りもし始めている。ジンジャー畑の白い花が満開なのが見事だった。ムラサキシキブ、シロシキブ、サンゴジュ、ハナミズキなども沢山実がなり、柿やイチジクも実が色づき始めている。来月にはそれらを求めて小鳥が沢山やって来そう。 ・例のごとく、8時少し前から鳥の声は全く聞こえなくなり、2・3か所確認して終了。	Eブロック
19		・彼岸花が咲き、ハナミズキは赤い実を付け、キンモクセイが香り快い風は近くの運動会の声を運んでくる調査でした。 ・翼を傷めたオナガガモが見つからない。7月は居たのに。 ・最初に気が付いたのは8月27日5時～6時の間、ムクドリの大群が次々と電線に集まり、驚くばかりでした。日によって場所が変わる。	Eブロック
20	シジュウカラ	・9月9日から10日にかけて鬼怒川流域を中心に大雨となりましたが、調査地である西新井橋周辺にも流木が見られました。 ・繁殖を終えた鳥達は声も少なく、静かな秋を迎えています。 ・河川敷はネコとベンケイガニが多く見られました。野良猫は増えすぎではないでしょうか。 ・シジュウカラが民家のアンテナに止まり聞きなれない節で鳴いていました。	Aブロック
21	オナガ ツミ	・児童遊園で、オナガの群れが騒いでいます。中心にいるのは、ツミでした。追いかけたり、追いかけられたり、威嚇しあっているようです。20分ほどのバトルの後、ツミは飛び立ちオナガも後を追うように飛んで行きました。 ・ツミは喉に細い縦黒線がありましたから、幼鳥のようです。私のエリアでは初確認です。	Eブロック
22	ムクドリ コムクドリ	・9月14日16時半頃、我家の南側の電線に並んだ40羽ほどのムクドリの大群の中にコムクドリ3羽を確認した。 ・9月22日、調査時に堀川沿いの電線にコムクドリ1羽だけと、電線に並んだムクドリ12羽の中にコムクドリ2羽確認した。 ・今年は、ムクドリの大群も見られずさびしい9月でした。	Eブロック
23		・天気が良く観察日和であったが、種類、数とも見られた鳥が少なかった。	Bブロック

平成27年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
23	カルガモ モズ	・カルガモの群れが、下流側から西新井橋の上空を通過して、上流側に飛んでいった。 ・扇大橋～西新井橋の中間位にある草地にモズの雄がいた。平成24・25・26年度の調査でも、ほぼ同じ場所でモズの雄を観察しているため、同じ個体かもしれない。	Bブロック
24		・連休明けで河川敷のグラウンドは静かでしたが、干潮時で他でエサを探しに行ったのかモニター範囲内では種類も数も少なくさみしい観察でした。 ・モニター外の江北橋上流の高速道路の右岸下には浅瀬が出来ていて、コサギ14、ダイサギ7が確認出来たのがせめてもの救いですかネ！	Bブロック
27	キジバト	・出発した時は雨は落ちてなかったのですが、途中から小雨になり、小鳥達は出てくれませんでした。 ・八百免公園で、キジバトが1羽、何度も巣材を運んでいました。今頃巣作りでしょうか...？	Eブロック
27	カワラヒワ カワセミ ホトトギス	・桑袋記念公園に、カワラヒワが賑やかに飛び交っていました。 ・雨が降り出した川面（綾瀬川）を見ていると、川の中から飛び出した（ように見えた）モノがいたので、目を凝らして岸边を探すと、いました「青い宝石」カワセミが！ ・浅間第一公園では新顔に出会いました。ハトくらいの大きさで、背は赤褐色、胸は黒ボーダー、図鑑やネットで照合し、ホトトギスとツツドリの♀赤色型と2択になりましたが、不鮮明なデジカメの画像に、背～尾にかけて白斑が確認されたので、決め手としました。（鳴声は確認できず）	Dブロック
27	モズ	・毛長川歩道の電線で、モズが大きな声で鳴いているのが非常に印象的でした。 ・季節の変わり目なのか、鳥の数が少なく思えました。	Cブロック
28	ムクドリ スズメ モズ	・今日は河川敷重点に観察しました。水辺の鳥を期待しましたが、水量が多く、水流も速くゴミも多数あり水辺の鳥は全然見ることができませんでした。 ・その代わり、ムクドリ、スズメの群れに出会うことが出来ました。又1羽ですがモズの力強い鳴き声に秋の気配を感じました。	Aブロック
28		・今夏は猛暑でしたが、お彼岸が過ぎて、大分涼しくなりました。 ・野鳥の動きは今一つで、種数、個体数とも少なく感じられました。	Dブロック
28		・秋らしい気候になったが、野鳥は少ない。 ・今月28日は満月、調査ルートは家々の庭のキンモクセイの香が漂い本格的な秋を迎えた。 ・これから冬鳥の飛来で賑やかになる。	Dブロック

平成27年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観 察 者 (敬称略)
28	オナガ ムクドリ スズメ アオサギ	・金土日と雨を避け、本日になりました。開始時は曇天でしたが徐々に晴れ、終了時には快晴となりました。 ・6時過ぎに西新井栄町の自宅を出て関原商店街～西新井橋経由で歩いて担当地区に向かいました。長袖を着ましたが、6時台も少し蒸し暑かったです。 ・珍しく隅田川対岸にオナガが多数いました。カワラヒワは今回も見られませんでした。ムクドリも少なかったように思います。スズメの元気が目立ちました。 ・隅田川に沿ってアオサギがまんべんなく見られました。（対岸も同様でした） ・橋戸町付近の川沿いで地元の70歳前後の方にお話を聞きました。子どものころは隅田川で泳いだり、その後汚くなり、東京オリンピックの後少しきれいになったのだそうです。カラスが多くて困るとのことでした。	Aブロック
28	コガモ モズ	・隅田川にコガモ7羽が渡ってきました。 ・モズの高鳴きをきく。	Aブロック
29	オナガ ムクドリ	・暑い日と涼しい日が交互のお天気。今日は台風の余波のためか、蒸し暑い。しばらく耳にしなかったツクツクボウシの声が聞こえた。 ・公園をオナガが群れて通過して行った。 ・鳥はムクドリが朝食中。	Eブロック
29	スズメ	・今日はスズメ以外の鳥をほとんど見かけませんでした。	Aブロック
29	カワセミ	・川岸は、すっかり草刈され、アシも減りました。 ・埼玉県側ですが、今まで目にしなかった柵をのりこえて釣りをする人の姿が目立ちました。心配です。 ・この所、カワセミによく会えますが、今日は2羽並んで飛んでいる姿が見られました。	Cブロック

平成27年9月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観 察 者 (敬称略)
13	スズメ	ベルモント公園	芝生をついばんでいた。	Dブロック

平成27年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
1	ユリカモメ	・清涼な秋晴れ。野球、ジョギング、サイクリング、散歩など人出があった。川では水上スキー、レガッタが行きかい、釣り人も数人、セイゴが釣れるといていた。 ・ユリカモメがグラウンドに広がっていたほかは、なじみの鳥たちがいた。相変わらずドバトが大群をなしていた。	Bブロック
6	スズメ ヒヨドリ ムクドリ ユリカモメ	・日の出が6:08なので、いつもより開始時刻を10分ずらしました。快晴、西北西の風、風力2 ・ドバトは80以上、調査時にスズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ユリカモメなど多数群れていて数は概数です。 ・河川敷の一部が補修工事を開始、今まで日曜日にやっていましたが、この地域の観察の後半戦が日曜日だと、野球や散歩の人が多くなって野鳥が逃げてしまっているようなので、平日に変更しました。 ・10月12日（月）正午ごろ、4号線と常磐線の間の荒川左岸の湾処の公園内でホトトギス1羽を見ました。	Aブロック
6	メジロ	・千住曙町公園に入る前からもうメジロの騒がしい声が聞こえる。 ・1羽しか見えなかったが、たぶん複数でいるはずだ。寒くなると目立つようになる鳥だ。忙しく動き回っているのを見るとほっとする。他の公園や住宅地でもけっこう目立っていた。	Aブロック
7	ヒヨドリ ムクドリ ハシブトガラス	・ヒヨドリやムクドリの声をあちらこちらに聞きながら出発。柿の実が沢山なっているお宅の周囲、鳥の声やかましい。 ・雲の隙間から所々青い空が見えるが、雲の量は増えつつある。 ・10月桜満開の家有り。8時半頃、北の方の雲がほとんどなくなり青空が広がる。枇杷の花が咲き始めていた。 ・今日は始めから途切れることなく、ヒヨかムクの声が聞こえていた。ハシブトが高い所に止まっているのが目についた。ヒヨがキーキー鳴くほかに、ヒュルルヒュルルと囀るのを何か所かで聞いた。	Eブロック
7	カワラヒワ ツグミ ハクセキレイ	・カワラヒワ、ツグミ、ハクセキレイが見られました。 ・昨年見られたジョウビタキは、まだ見られませんでした。	Dブロック
7	ハシボソガラス	・ムクドリ及びスズメを1羽も確認できなかった。 ・西新井橋上流側の野球場沿いにある道路上にハシボソガラスがいた。欠けたクルミの実をくわえ、上空に舞い上がっては、アスファルトの道路に落として割ろうとしていた。何度か繰り返していたが割れないため、野球場の芝生の上に行って嘴でつついていた。私が近寄ったら、クルミをくわえて飛び去った。	Bブロック
8	スズメ	・7時過ぎには雨が降り出し、不作でした。 ・花畑団地の空き地で無数（150羽程）のスズメが、雑草に群っていました。	Dブロック

平成27年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
11	モズ ジョウビタキ	・毎日、日の出の時間帯に高圧線の鉄塔部分で100羽を超えるムクドリがうるさい程に鳴き騒いでいるが、観察を始めた7時過ぎには1羽もいなくなっていた。 ・モズが他の1羽を追いかけて回っていた。縄張り争いをしているのだろうか。 ・屋根のアンテナの上でジョウビタキが鳴いていた。今期初見。	Aブロック
12	ウグイス	・ウグイスの地鳴きを聞く。（3か所） ・晴れ、気温15	Bブロック
13	ムクドリ オナガ ヒヨドリ スズメ	・ムクドリやオナガを追いまわっているヒヨドリの高鳴きがうれしく面白い光景です。 ・案の定、スズメの総数よりヒヨドリの総数が上回っている朝でした。	Dブロック
13	ヒヨドリ ツグミ カシラダカ ジョウビタキ メジロ カルガモ バン オオバン オナガガモ ヒドリガモ	・11月中旬としては暖かな朝です。鳥達は朝寝坊をしているのかな、と思わせるほど静かです。 ・しかし、公園の中に入ると、実の成っている木にはヒヨドリの元気な鳴き声が聞こえます。相変わらずカラスの鳴き声と姿は目立ちます。 ・公園D地区に入ると冬鳥のツグミ、カシラダカに出会いました。又、ジョウビタキ、メジロもいました。 ・大池には留鳥のカルガモ、バンの中にオオバン、冬鳥のオナガガモ、ヒドリガモも見られるようになりました。そろそろ人も冬の準備の時期です。	Cブロック
13	モズ ヒヨドリ カワラヒワ スズメ ムクドリ	・草の中から可愛らしい虫の声、木の上ではモズの姿と元気な声が聞こえてきました。のどかな空間、楽しい調査ができました。 ・ヒヨドリ、カワラヒワは多くいましたが、スズメ、ムクドリは少なめでした。	Bブロック
14	イカルチドリ イソシギ	・予報では未明から雨の予報でした。曇って暗い朝でしたが雨は降っておらず、双眼鏡を持って急いで家を出ました。幸い観察中は雨が降らず良かったです。 ・荒川は満潮でイカルチドリやイソシギは、水から頭だけ飛び出している杭の上に止まって退屈そうに水の引くのを待っていました。 ・西新井橋から下流側を見ると水面に近い芝地にハクガン幼鳥3羽が健在で、ハクガンを扇型に取り囲むようにカメラマンが、重そうな大きなレンズをつけたカメラを向けていました。（調査地域外）	Aブロック
16	カンムリカイツブリ	・堀切橋近くの屋形船が繫留されている所でカンムリカイツブリを見る。このエリアを担当して初めての飛来。	Aブロック

平成27年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
16	ユリカモメ	・はっきりしない天気が続く中でたまたま快晴の日に恵まれての快適な観察でした。 ・河川敷の野球グラウンドの芝生で白い大きな鳥が一羽エサを探しているのがビックリ！して双眼鏡で確認すると、なんとユリカモメでした。	Bブロック
16	ハシブトガラス ハシボソガラス	・ハシブトガラスの2羽は、電線上で向き合い、仲良く、いつまでもつつき合っていた。 ・ハシボソガラスの1羽がペットボトルの大をくわえ、ころがして、水路に投げ、浮かんで流れたのを、今度は取ろうとししばらく追いかけて、取ってはまた投げるをくり返しなが、流れにそって水路の右に左にとびながら遊んでいた。	Cブロック
17	ツグミ ヒヨドリ カワラヒワ	・オニグルミの樹にツグミが1羽だけ来ていた。 ・ヒヨドリ、カワラヒワの声が目立つようになってきた。	Aブロック
17	スズメ	・今朝は風もなく歩いていると少し汗ばむ気温。スズメの姿も冬支度になっていない。 ・観察場所の川は、東京拘置所脇の水路。	Dブロック
21	ヒヨドリ コゲラ ムクドリ	・ヒヨドリが「やかましい」位鳴いていた。実数は調査用紙上の記録よりもっと多いと思う。 ・コゲラはしょうぶ沼公園で観た。 ・ムクドリが川端第一公園を「ネグラ」としていた。立木が剪定されたため他所に移った。夕方「ウンカ」の如く飛び交うことがなくなった。	Eブロック
21	モズ ツグミ ジョウビタキ	・今日は久しぶりの晴天に恵まれ、河原の薄も銀色に波打ち、素晴らしい風景です。 ・しかし連休初日にあたってしまい、いつもスズメ、ムクドリが多数見られるグラウンドには早朝から人が多く、全体としては個体数が少なく感じられましたが、モズ、ツグミ、ジョウビタキなどが季節を思わせました。	Aブロック
21	ヒドリガモ オオバン	・満潮に近い状況、新芝川にはカモが渡ってきています。今年はヒドリガモ1種のみ観察しました。 ・新芝川水門近くの壁面近くでオオバンがもぐりをくり返していました。	Cブロック

平成27年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
21	ジョウビタキ オオバン ヒドリガモ ヒヨドリ ムクドリ メジロ シジュウカラ	・昨日小雨で本日快晴となりました。7時台にはまだ川霧が隅田川に残っていました。8時くらいには温度があがり日差しが強くなりました。10時前に少し風がでました。 ・ジョウビタキが登場し冬が近い印象でした。隅田川には（担当外の対岸含め）オオバンとヒドリガモが多かったです。 ・千住神社では冬桜？十月桜が咲いていました。 ・ヒヨドリ（イチョウに多かったです）とムクドリが集まる中、メジロとシジュウカラが飛び回っていました。 ・観察を終え西新井橋経由で帰りましたが、20名ほどのハクガンギャラリーが見えました。	Aブロック
22	ヒドリガモ ジョウビタキ ツグミ	・中川に、ヒドリガモがもどって来ました。 ・ジョウビタキや、ツグミも観察することができました。	Eブロック
22	オオバン アオサギ コサギ コガモ	・綾瀬川には、オオバンが1羽泳いでいるだけでしたが、対岸にアオサギ、上空ではカモメ（2種）が行き交っていました。 ・桑袋ビオトープ公園で、コサギ、コガモと会いましたが、すぐに飛んで行ってしまいました。	Dブロック
22	ウグイス ヒヨドリ	・ウグイスの鳴声、ヒヨドリの声高の鳴声で冬が感じられました。	Dブロック
22	ツグミ オナガ	・冬鳥の季節となり、ツグミが確認できました。 ・久しぶりにオナガの群とも出合いました。	Dブロック
22	ウグイス ジョウビタキ ツグミ	・渡って来た冬鳥も居場所に落ち着いたようです。ウグイス、ジョウビタキ、ツグミの声が良く聞こえるようになりました。 ・調査日には出てこなかったのですが、モズの声も今年は良く聞きます。	Eブロック
26	イソシギ バン ヒドリガモ スズメ ハクセキレイ モズ	・11月割合雨が多く月末の平日調査となった。時間も8時から10時とずらした。 ・街の中は少なかったが、川にイソシギやバン、ヒドリガモ等姿を見せ、スズメやハクセキレイはペアで行動していたのが目立った。 ・モズも尾を回しながらポーズを取ってくれ、まずまずの調査でした。	Eブロック
27		・土手到着直後、上空に1,500～1,600羽（もっといたかも）カワウの大群が上流に向かって飛んで行きました。私のエリアではないので、報告書には書いてません。	Bブロック
28	ヒヨドリ ツグミ	・ヒヨドリの鳴き声ばかりが賑やかでしたが、冬鳥の渡来が遅いのかツグミも今日が初認でした。	Eブロック

平成27年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
28	ヒヨドリ	・ヒヨドリが元気な季節になりました。鳴き声が元気過ぎて、他の野鳥の声もかき消すぐらいになっていました。 ・寺院の柿の木にワカケホンセイインコ2羽が熟れた柿を美味しそうに食べていたのが印象的でした。 ・限られた神社内に冬鳥たちが来ていて、いろいろと楽しませてくれました。	Cブロック
28	ハクガン	・最近新聞にも出ていたらしいですが、「めったに見れないハクガンが荒川河川敷に飛来している」と。そのハクガンを発見！！ ・3羽グラウンドで餌をついばんでいました。まわりには見物客が4人。みんなその写真をとっていました。 ・図鑑によると成鳥は尾の先の黒以外は全身白。若鳥は背中が灰色とのこと。3羽とも背中が灰色でしたので若鳥のようです。	Aブロック
28		・全体に鳥の数・種類が少ない印象。 ・シメ、ウグイスは、調査地域外ですが、冬鳥なので念のため記録しました。	Bブロック
28		・良い天気でしたが、鳥が少なくて少し気になりました。	Eブロック
28	カイツブリ	・毛長川の葦原が少なくなり、オオジュリンなどの姿がめっきり減っています。 ・今日は、さらに伐採を進めていました。先行きが心配です。 ・久しぶりにカイツブリが見られました。	Cブロック
29		・木の葉が落ちて野鳥がよく観察できるようになった。今月、調査区域外の東綾瀬公園では、カワセミやモズなどを見かけた。	Dブロック
29	ヒヨドリ オナガガモ	・山茶花の咲いている所が有るのにメジロが観察出来なかった。 ・ヒヨドリがキイーキイーとヒステリックに鳴いていた。何を言っているのか知りたかった。 ・公園の池に青空と紅葉が映りオナガガモが泳ぎ美しかった。	Eブロック

平成28年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	セッカ	・正月の静かな河原。ヒトを含め、生き物も姿は少なかったが、カップルでいる鳥が目立った。 ・葦の間に見え隠れするのはセッカだと思う。 ・頭から首筋が黒く、全体的に灰色で、背中中の羽が葉っぱ状に濃いめの灰色。カイツブリより大きいが似た動きで、しきりに潜っては思わぬところから姿を現した。 ・千住新橋の小菅側、調査区外だったが、ユリカモメが60羽ほど群れていた。	Bブロック
3	ハクガン	・前回（11月）に報告しました“あのハクガン”を今日も発見！今日も3羽。グレーかった若鳥。前回と同じ羽だと思われます。 ・まわりで写真を撮っている人に聞いたら、10月末頃からほぼ毎日この場所に来ているとのこと。ねぐらは別だが、朝になると飛んで来てここで草をついばんでいるとのこと。	Aブロック
4	ヒヨドリ イソヒヨドリ カワウ ユリカモメ	・ヒヨドリが寒さのためか、ふくら雀のようにまんまるくなって枝にとまっていた。 ・イソヒヨドリ（メス）を隅田川新豊橋の下流左岸で今年初見。 ・カワウ200羽以上が荒川に群れて浮かんでいた。 ・又、ユリカモメ80羽以上が隅田川の上を乱舞していた。	Aブロック
5		・今年は花の咲きが早く、寒紅梅、ロウバイ、椿が満開で蜜を求める鳥達は大忙しでした。	Eブロック
5		・日の出が6:50頃なので、7:00開始にしました。快晴、風弱し。本日、ドバト70以上。 ・12月28日（月）日ノ出町荒川でハジロカイツブリ1羽見ました。	Aブロック
5		・数年前から、庭に実のなる樹木のあった家が建て替えになり、木を植えない家が多くなりました。そのせいか、メジロが見えなくなった気がします。	Dブロック
7	ムクドリ ヒヨドリ スズメ	・本日は晴れていましたが、強風のため川面は波立ち、水面に見られる種類は全然いませんでした。 ・しかし、住宅地では枝に残った柿の実にムクドリ、ヒヨドリが群れていました。 ・河川敷には、スズメ、ムクドリが群れていましたが、全体的にはあまり多くの鳥は見れませんでした。	Aブロック
8	ベニマシコ	・1月とは思えない無風で暖かい日の野鳥調査でした。調査開始した途端に江北橋の上流100m位の川の中に大量のゴミが...でも良く見るとカワウの群れでした。川の中に170羽、上空に10羽程度が確認できました。多分カワウの朝礼でこれからきとお仕事に出かけるのでしょうネ！（残念ながら調査外ですので調査数にはカウントはしていません！） ・ベニマシコは江北橋すぐ近くの川沿いの草むらでセイタカアワダチソウの種を美味しそうに食べていました。自分としては荒川でベニマシコを見るのは今回が初めてです。	Bブロック

平成28年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観 察 者 (敬称略)
8	メジロ スズメ シジュウカラ ユリカモメ ホシハジロ キンクロハジロ	・冬のメジロは人への警戒心が低下するのかそれとも食べ物探しに必死なのか、1～2mの距離でも気にせず動いている。スズメと一緒に行動している2羽も見た。あまり見ない組み合わせだと思う。メジロ4羽とシジュウカラの組み合わせもあった。こんなに何回もメジロの群を見たのは初めてだ。 ・隅田川にユリカモメの群が来ていたが、近づいてもあまり逃げず、私が通り過ぎて15mくらい離れると飛んでまた近くに着水する個体が多い。餌がもらえることをどこかで学習しているのではないだろうか。 ・隅田川のホシハジロ・キンクロハジロは単独とともに♀、2羽で（見た目には）仲良く泳いでいた。	Aブロック
8	カルガモ スズメ	・赤・白の梅が咲き親水公園はすでに春です。 ・夏に見た幼いカルガモがすっかり育って、公園の小川で広範囲に泳いでいるのが印象的でした。 ・3時過ぎに2本の枯木に合計40～50羽のスズメが集り、にぎやかにさえずっていました。	Cブロック
9	ムクドリ スズメ ツグミ シジュウカラ メジロ	・明るくなるのを待って出た。近くの畑の霜がきれいだ。 ・普段と違って葛西用水親水公園の木々にムクやスズメが固まっています、30分程で100羽以上観察できた。 ・7時5分、朝日が近くの建物を赤く染めた。ツグミを1羽ずつ別々の公園で見つけた。シジュウカラが1羽囀りを始めていた。メジロも見ることができた。春が早く来るかも知れぬ予感がする。 ・水仙があちこちで咲き始めているが、観察終了時も霜は消えておらず、指先がかじかんでいた。3月の観察が楽しみである。	Eブロック
9	ユリカモメ	・現場に着いてすぐグラウンドに60～70羽のユリカモメ。ガサガサと身支度をしていたら次から次とユリカモメが集まって来てセッセと数えたら102羽になってました。圧巻！	Bブロック
9	キジバト ユリカモメ オオタカ	・1月は1年のうちで1番日の出が遅い。お天気のいい早朝に、今年は木星、金星、月が輝いている。 ・このような日の出前、舎人公園近くの高圧送電線にカラスがいつも70～100羽位集結をして夜明けを待っている。私は公園でのラジオ体操会に行くので、その光景をいつも目にする。 ・体操会が終わり太陽が昇り始めると、送電線には、1羽もいなくなる。公園のあちらこちらへ餌をさがしに行くのだらう。そのカラスを、しっかり調査で数を取ろうと思うのだが、調査では思うほど取れない。 ・今月はキジバトを多く見た。どこかのポイントにも目にした。 ・久しぶりに大池にユリカモメが45羽位来ていた。白い羽根が旭に照らされて銀色に輝いている。一瞬オオタカが飛来すると、すべての鳥が舞いたち、大池の上空は騒然となった。さすが空の王者である。	Cブロック

平成28年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
9	ムクドリ カワウ スズメ	・草原は霜がおりていましたが暖かく、穏やかな調査日和でした。 ・ムクドリ、カワウは今までで一番多く見かけましたが、スズメは一番少なかったです。（鹿浜橋を渡った頃は20羽くらい木にとまっていました（スズメ））	Bブロック
9	カンムリカイツブリ	・カンムリカイツブリ4羽の群れのうち2羽が、背中側に首を曲げたまま（寝ながら？）、下流側に流されて行った。	Bブロック
10	カワウ ホシハジロ	・カワウの大群が自分のエリアに行く前に1度、自分のエリアで2度、上流に飛んで行きました。ざっと数えて全部で800～900羽いたように思います。 ・帰り道で、500羽位の群が下流に向かって飛んで行くのも見られました。 ・ホシハジロは、中川ではなく花畑運河にいました。	Eブロック
10	スズメ ジョウビタキ シジュウカラ ツグミ	・おだやかな快晴の朝です。トランスの中のスズメの鳴き声が賑やかです。 ・今年もジョウビタキを見ることが出来ました。元気に飛び交うシジュウカラ、山茶花の枝にひそやかに留まっているツグミにも出会えた朝でした。	Dブロック
10	コゲラ	・6時半なのに薄暗く、調査地に着いてやっと明るくなりだした。 ・今日は、新顔（冬鳥）に会えるかと思ったが、あまり収穫はなかった。 ・コゲラの鳴き声は聞いたが確認はできなかった。	Dブロック
10	オオバン	・中川に居なかった、オオバンが年々増えている。	Eブロック
10	カワウ	・昨年12月頃から、100～1000羽のカワウの大群が、中川を行き来するのをたびたび目にします。輸送船の後ろで集団採餌をしたりしています。なかなか壮観なものです。 ・12月30日、大谷田2丁目中川に6羽ホシハジロが来ていました。この近辺では久しぶりの確認です。	Eブロック
11	ヒヨドリ	・今日は久しぶりに寒さを感じた。ヒヨドリの群れがあちこち移動する姿が見られた。高い木の一番てっぺんにとまって、きょっきょとしばらくさえずっているのが印象的だった。	Dブロック
11	スズメ カワセミ カワウ	・朝出た時は寒いせいか鳥が少なかった。帰りには気温が上がりスズメが群れていた。 ・カワセミはカメラマンに餌付けされているのでは？水面に伸びる止まり木まで作ってあった。 ・調査時間外にワカケホンセンインコ3羽、カワウ1羽飛ぶのを見た。	Eブロック
15		・気温低くくもり空。野良猫が多い。	Bブロック

平成28年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
16	カワウ カワラヒワ	・隅田川の上を、約150羽のカワウの群れが飛んでいった。 ・河川敷にカワラヒワが多く、群れになって飛んでいる。風もなく暖かいのに、オオジュリンは声も姿もなかった。 ・野鳥の好むトウネズミモチの実は、もうほとんど無くなっている。	Aブロック
16	シジュウカラ	・11種類の鳥を観察出来ました。 ・5羽のシジュウカラを見ましたが、若鳥と思われます。	Dブロック
17	ツグミ カワラヒワ	・ツグミが、チョコチョコと姿を見せ出した。 ・公園の芝で、カワラヒワの群れを発見！これ程のまとまった数（45羽）を見たのは、初めてだ。	Dブロック
20	コサギ	・12月になってからコサギが4羽一緒にいるのを見かけるようになり ました。 ・調査日ではありませんが、1/1午前中、毛長川上空でオオタカ（多 分）がカラスに追われていました。	Cブロック
21	タヒバリ	・既設護岸改築工事の柵の中にあるわずかな草地にタヒバリ9羽餌を ついばんでいた。	Aブロック
22	スズメ ヒヨドリ ムクドリ	・大寒の翌日の調査でした。冬晴の寒い日のせいか、野鳥の動きはに ぶく、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリが目立ちました。	Dブロック
22	オオバン	・寒い日の調査でした。珍しく毛長川にオオバン3羽がいました。陽 を浴びて楽しそうに水浴びをしていました。 ・冬鳥は寒さにも強い。うらやましい！	Dブロック
24	オオジュリン	・昨夜は雪の予報でしたが、幸い雪は降らずモニター調査が出来まし た。今年一番の寒気が降りているということでしたが、草加は朝6時 の時点で+2度でした。ただ北西の風が強く吹いていたので、寒く感 じました。 ・今回オオジュリンを何度も見る事が出来ました。西新井橋の上か ら観察した2羽は距離も近くて、絶好のシャッターチャンスでした が、カメラを置いてきたことが悔やまれました。	Aブロック
25		・全体に、鳥が少ない印象でした。いずれの公園にも落ち葉や下草が ほとんどなく、鳥が隠れる場や食べ物がないのではないかと思います。 ・落ち葉がある調査地域外のお寺には、ウグイス、アオジ、ツグミな どの冬鳥がいました。	Bブロック
27	スズメ ムクドリ ハシブトガラ ス	・公園で30羽程のスズメ、ムクドリ、等が採餌中。そこへハシブトガ ラスが舞い降りた。スズメもムクドリも一斉に飛び立った。 ・沢山飛び立った中のムクドリ1羽が標的にされ逃げても逃げても追 われていた。スズメ達は何事も無かった様に採餌を始めた。 ・追われたムクドリはどうなったか定かではない。	Eブロック

平成28年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
27		・観察開始時は寒さで（予報では0度前後）手が痛くなったものの、快晴となり9時過ぎには暖かさが十分感じられるようになりました。風はなく観察向きでした。 ・千住桜木1丁目付近隅田川に作業船（堤防の土を運ぶ）が出ているため、カモ類カモメ類は遠巻きにするような様子で水面にいました（対岸はアオサギ等いつも沢山休んでいます）。 ・この日はカワラヒワがいませんで不思議な感じがしました。千住桜小と隅田川の間にある公園でドバトが数十羽いましたが、餌を与える女性がいて困っていると散歩中の男性から言われました。職員と間違われたようですが、報告します。観察中声をかけられることが多くなりました。	Aブロック
30	ユリカモメ ハシボソガラス	・曇混じりの寒い日でしたが、神社内は餌を探して野鳥たちがいました。 ・毛長川ではユリカモメが小魚を獲っていましたが、それを横取りするハシボソガラスが道路で小魚を食している姿がとても印象的でした。	Cブロック
31	ヒヨドリ	・晴れた寒い日でした。たくさん見る事ができました。 ・ヒヨドリは20羽ぐらいの群れでブロッコリー畑にいました。	Eブロック

平成28年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	ツグミ ムクドリ ウグイス アオジ スズメ	・朝から快晴、雲ひとつなく無風。江北橋～扇大橋の葦原が、大幅に刈られて河岸まで入り易くなっていた。刈り取られた草原に多くのツグミ・ムクドリが観察されました。 ・河岸近くの茂みにウグイス、アオジが居ました。又扇大橋の上流150mの茂みにスズメの大群が潜んでいたのには驚かされました。扇大橋下流は工事のため鳥の姿はほとんど有りませんでした。	Aブロック
2	カンムリカイツブリ キンクロハジロ ホシハジロ	・カンムリカイツブリ1羽が荒川で泳いでいた。 ・海カモ類の、キンクロハジロ7羽、ホシハジロ6羽などもいて、荒川の様子が少しずつ変化しているように思えた。	Aブロック
3	メジロ ハシブトガラス	・前回に続いてメジロが活発に動いている。それぞれペアで動いている。繁殖への準備が始まっているようだ。 ・ハシブトガラスがマンションの芝生上で巣材を拾い集めているのを見た。産座に近い部分に使うのだろう、10センチ程度の細枝ばかり集めている。 ・既に巣の骨格は完成しているのだろう。今年の繁殖時期は早いかもしれない。	Aブロック
3	オオジュリン アオジ	・堀切橋近くのアシ原でオオジュリンとアオジ今年も飛来。 ・定番のヒドリガモ現われず、護岸改築工事のためか？	Aブロック
4	メジロ ウグイス	・大谷田公園にて、メジロの群れが次々と梢の上を移動していた。17羽数えたがもっと多いかもしれない。この公園でこれだけの数の群れを見たのは初めて。 ・今回は野鳥の種類も多く、活発に動き回っており、繁殖の準備のように感じた。ウグイスはまだ地鳴きだった。	Eブロック
4	ジョウビタキ アカハラ	・ジョウビタキ♀2羽は、300mくらい離れた所にいたが同一個体かとも思われます。 ・アカハラは、200mくらいで近かったが腹や肩、背中の色が異なっていたので別個体かと思われます。	Eブロック
4	スズメ ムクドリ アオジ カンムリカイツブリ	・スズメは少なく、ムクドリは多くいました。アオジ、カンムリカイツブリは初めて見かけました。 2月4日荒川新田河岸の近くにカンムリカイツブリ10羽あまり水面に浮かんでいました。その光景を見た時はとても感激しました。 - 平成25年5月、同じく新田で1羽見かけました。	Bブロック

平成28年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観 察 者 (敬称略)
5	ハクガン	・例の3羽のハクガン今日登場です。9時15分頃気がついたら上空を飛んでいて、ゆっくり円を描くように飛びながら最初は荒川に着水。しばらくすると飛び立ち、また円を描くようにして今度はグラウンドに着地。草をついばみ始めました。どうやらクローバーの葉がお気に入りのよう。しかも緑色があまり濃くない若い葉が好きなよう。 ・前はもっと背中がグレーかかってましたが、全体がだいぶ白くなりました。尾の先が黒で、白と黒のコントラストが美しいです。 ・だいぶ暖かくなってきたので、もうそろそろいなくなってしまうかもしれません。	Aブロック
5	ツグミ ムクドリ スズメ キジバト メジロ	・曇り。少し肌寒い中、出発。あちこちから、何種類かの鳥の声が聞こえてきて期待できそう。 ・予報に反して、7時頃雲の上に丸く白い太陽の姿がうっすらと見えただけで、終了時まで雲厚めだったが、風もなく観察しやすい日だった。 ・公園2ヶ所と畑でツグミを見た。他の鳥に比べて人を恐れる様子がない。よく観察できる。 ・ムクドリ・スズメ・キジバト・メジロなどペアで動いているのを多く見かけた。梅の花は盛りを過ぎそうだ。	Eブロック
5	オオジュリン イソシギ	・今回初めてカメラを持って観察しました。西新井橋の上からオオジュリン、イソシギを撮りましたが、遠いのは難しいです。 ・まだ朝の風は冷たくて、ツバメの到着までもう少し待たなくてはならないでしょう。	Aブロック
5		・狭い神社にはたくさんの野鳥たちが集まっていました。神社の大木にハンガーや小枝で作った大きな巣を見つけました。カラスの巣と思われますが、これから繁殖が見られるかもしれません。	Cブロック
5	ヒヨドリ オナガガモ	・早咲きの桜の花にヒヨドリが群がり、宙吊りになったりして蜜を吸ってた。 ・暖かくなり、オナガガモは減ってた。餌がなく池の縁に立つと一斉に寄ってくる。北に帰れるのだろうか心配になる。	Eブロック
5	スズメ キジバト	・すっかり春めいてきた。鳥の鳴き声が一段と賑やかになった。 ・鳥の多くが「つがい」で行動し繁殖期に入った様だ。 ・スズメ、キジバトに巣材を運ぶ行動を見た。	Eブロック
5	カルガモ ヒドリガモ コガモ マガモ イワツバメ	・新田地区の隅田川では、荒川に比べカモ類が多く、今日も隅田川で4種（カルガモ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ）、一方荒川では全く観察されなかった。 ・イワツバメ（6羽）初確認（2016.3.5）	Aブロック

平成28年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
5	メジロ スズメ	・満開の白梅の花とメジロ、うれしい出会いです。 ・トランスの中を出入りしているのも含め3月は例年通りスズメの数が多いです。	Dブロック
6	ツグミ ヒヨドリ ハシブトガラ ス ジョウビタキ	・今年は冬鳥が少ないと思っていたが久し振りにツグミが顔を見せてくれ嬉しかった。 ・河津桜の花の中で飛び上っては戻るをくり返して遊ぶヒヨドリを見た。 ・ハシブトガラスはケヤキの小枝を音を立てて折って巣造りの準備か。 ・最後にヒラリと舞い降りたジョウビタキは目を見張る程の美女だった。	Eブロック
6		・野球場が全面使用中で河原はにぎわっていた。川面も水上スキーで波立っていた。 ・観察できたのは見慣れた鳥ばかりだったが、個体数に変化があり、季節の移り変わりを感じた。	Bブロック
6	ウグイス メジロ	・ウグイスの地鳴き、メジロが飛び交い、春を感じる暖かな朝でした。 ・神社の横のヒマヤスギの上で「カラスの決闘」が始まり、しばらく眺めてました。木の上に巣がありました。	Dブロック
8		・川は、東京拘置所脇水路です。 ・水が温んできたせいか、アカミミガメが元気に泳いでいます。	Dブロック
8	ウグイス	・野良猫が多い。 ・ウグイスは、まだ地鳴。	Bブロック
8	スズメ ムクドリ	・雨上がりの暖かい日。スズメ、ムクドリ、カラスなどの巣づくりの様子が目についた。	Dブロック
8	ムクドリ スズメ ハシボソガラ ス	・親水公園内の小さな諏訪神社で餌付けする人あり。とたんにムクドリ、スズメ、ハシボソガラスなどが寄って来てついばむ。 ・ハシボソガラスが水の中で川底をつつく姿を二ヶ所で見つける。 ・散りしける 梅にためらう わが一步 恭子	Cブロック
9		・今にも雨が降りそうな日でしたが、この後もあまり良い天気が巡ってきそうもないので、決行しました。北東風力4、本日ドバト78羽	Aブロック

平成28年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
9	トビ オオジュリン タヒバリ カイツブリ マガモ コガモ キンクロハジロ スズメ カワラヒワ ムクドリ	・河川敷は少し風があり肌寒い観察となりましたが、確認種はトビ、オオジュリン、タヒバリ、カイツブリ、マガモ、コガモ、キンクロハジロ等々で計23種、個体数もスズメ、カワラヒワ、ムクドリを主として約400を数え、結構忙しくて楽しいモニターとなりました。	Bブロック
12	モズ	・西新井橋そばにアシ原の枯草の上にモズの雄が止まっていた。そこにモズの雌が飛んできて、雄を追い出すようにそこに止まった。縄張り争いかと思ったが、雄もすぐそばに止まり、争う様子はない。 ・近づくと一緒に飛び立ち、お互い並ぶような位置に止まった。このため、この2羽はつがいと考えられる。	Bブロック
12	シジュウカラ ヒヨドリ	・春半ばですが、寒気団の到来で非常に寒い。1月頃に逆戻り。しかし、シジュウカラ、ヒヨドリが盛んにさえずっていました。春ははじまっていると感じましたが、何故かムクドリが姿を見せなかった。何処かに集結しているのでしょうか。	Dブロック
12		・カラスの数が少ない様でした。いくつかの公園で工事がされているため、公園内での数も、少ない様です。	Eブロック
12	メジロ ヒヨドリ ハシブトガラ ス ハシボソガラ ス カワラヒワ オオタカ アオサギ ダイサギ ヒドリガモ コガモ カイツブリ スズメ	・梅の花も散り始め、早咲きの桜が満開です。この花にメジロ、ヒヨドリが集まります。 ・三寒四温。今朝は寒の戻りで真冬の寒さになりました。カラスの動きが目立ちます。ハシブト、ハシボソ、入り交り激しく動きます。仲間同志の何かがあるようです。 ・野球場の芝に枯葉が落ちたように見えたのは、カワラヒワが餌をついばんでいたのです。その数80羽を超えると思う数です。 ・公園上空をオオタカが上昇気流に乗りながらどんどん上ってゆきました。 ・大池のヨシの中にアオサギ、ダイサギが見え隠れしています。オナガガモ、ヒドリガモが見えないと思っていましたが、ヒドリガモはヨシの切れた場所に、37羽も集まっていた。コガモもいました。カイツブリも帰って来ていました。 ・頭の白い白化スズメが、池の周りを約三分の一周、私について来てくれました。	Cブロック
13	オオジュリン ツグミ ヒヨドリ シジュウカラ ウグイス	・調査日にオオジュリンを見られたのは、初めてです。 ・相撲部屋前の中州は、いつもと違ってツグミ・ヒヨドリ・シジュウカラなどでにぎわっていました。 ・ウグイスは、いつものポイントにはヒヨドリなどがいて、少し下流で囀っていました。	Cブロック

平成28年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
13	ジョウビタキ	・寒い日で人影が少なかった事もあり、多くの種類と数を見ることが出来た。 ・ジョウビタキはここでは久しぶりに観察できた。メスの淡い色がかわいらしい。	Cブロック
13	ヒドリガモ	・綾瀬川と伝右川の合流地点で、ヒドリガモの群れが羽を休めてた。ジョギング中の「葦立の会」会員という方から「イソシギがいた!」と聞き、綾瀬川沿いを戻ってみたが、見る事はできなかった。 ・対岸の芦原に「ヨシキリ」に似た薄茶の鳥が4、5羽見えたが種別の確認はできなかった。	Dブロック
13	メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ツグミ	・曇天、風はほとんどなく、川沿いは手がかじかむ寒さになりましたが、沈丁花の香りが強く、梅の花を吸うメジロが見られました。春になった印象でした。(株)ニッピからマンション空き地の草地で沢山のメジロ・スズメ・ムクドリ・ツグミがいました。 ・観察中にカモ(留鳥かどうか)の質問を男性より受けました。 ・関原と西新井橋を歩いて担当区に行ったのですが、6時40分ごろ西新井橋北詰首都高脇でチョウゲンボウが交尾していました。この付近にはいつもチョウゲンボウがいます。交通整理の方もよくご存じのようです。担当区ではありませんし、既に報告があると思いますが、目にしたので書いておきます。	Aブロック
13		・私の地域ではありませんが、ホシハジロが一羽ヒドリガモの中に、カンムリカイツブリも一羽飯塚橋の上流に来ています。	Eブロック
13		・シロハラ大のおなかがオレンジの鳥がいましたが、アカハラかツグミかわかりませんでした。	Eブロック
15	ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ	・ヒヨドリはサクラやウメの花の蜜を吸っているようだった。 ・ウグイスのぐぜり、シジュウカラのさえずりを確認した。 ・ヒヨドリが住宅街の1本の木に23羽集まっていた。渡りをするのでしょうか。	Bブロック
20		・時間が遅かったのか、ほとんど野鳥が見られなかった。	Dブロック

資料編

資料 1

平成27年度 野鳥モニター名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏 名	担当地域	
1		E	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2		E	神明南一・二丁目、北加平町
3		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
4		A	宮城全域（河川敷含む）
5		D	保木間一～三丁目
6		E	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
7		B	興野二丁目、扇三丁目
8		E	東和全域・谷中公園
9		A	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
10		D	梅島一～三丁目
11		A	小台全域（河川敷含む）
12		D	花畑三～五丁目
			花畑六～八丁目
13		E	神明一～三丁目、六木三・四丁目（圀川、中川含む）
14		B	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
15		B	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
16		B	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
17		B	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
18		E	大谷田一丁目
19		A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
20		D	西保木間一～三丁目

No.	氏 名	担当地域	
21		D	保木間四～五丁目
22		A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
23		C	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
24		C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
25		A	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
26		C	舎人公園
27		D	花畑六～八丁目
28		A	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
29		A	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
30		A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以东の千住河原町及び千住橋戸町
31		E	東綾瀬公園
32		C	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
33		B	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
34		E	大谷田二（中川含む）～五丁目
35		D	島根全域
36		B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
37		D	西綾瀬全域
38		E	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
39		B	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
40		C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目

資料2 調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	3	3	3	9
2			ヒドリガモ	0	0	0	118	476	281	875
3			マガモ	0	0	0	0	0	3	3
4			カルガモ	128	174	176	107	156	111	852
5			ハシビロガモ	0	0	0	13	0	2	15
6			オナガガモ	1	1	0	89	152	83	326
7			コガモ	0	0	7	32	96	104	239
8			ホシハジロ	0	0	0	3	48	22	73
9			キンクロハジロ	0	0	0	3	54	12	69
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	5	5	0	1	2	2	15
11			カンムリカイツブリ	0	0	0	1	7	5	13
12	ハト	ハト	キジバト	143	65	89	83	210	149	739
13	カツオドリ	ウ	カワウ	79	54	69	111	1,861	203	2,377
14	ペリカン	サギ	アオサギ	9	27	11	18	15	10	90
15			ダイサギ	5	7	22	8	5	3	50
16			チュウサギ	0	0	0	1	1	0	2
17			コサギ	5	8	14	6	5	13	51
18	ツル	クイナ	バン	7	6	7	11	9	12	52
19			オオバン	0	1	0	89	195	146	431
20	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	1	0	0	0	1
21	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	5	0	0	5
22			コチドリ	2	0	1	0	0	3	6
23			メダイチドリ	0	4	0	0	0	0	4
24		シギ	チュウシャクシギ	5	0	0	0	0	0	5
25			イソシギ	9	3	13	18	6	11	60
26		カモメ	ユリカモメ	3	0	0	248	1,004	333	1,588
27			ウミネコ	0	78	5	27	2	9	121
28			カモメ	0	0	0	0	2	0	2
29			セグロカモメ	0	11	2	21	51	34	119
30			オオセグロカモメ	0	0	0	1	0	0	1
31			コアジサシ	15	2	0	0	0	0	17
32	タカ	タカ	トビ	0	0	1	0	0	1	2
33			ツミ	0	0	1	0	0	0	1
34			オオタカ	0	0	0	0	1	1	2
35	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	1	0	3	1	2	2	9
36		キツツキ	コゲラ	3	1	6	7	2	2	21
37	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	1	2	2	1	3	10
38	スズメ	モズ	モズ	0	0	8	29	13	18	68

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
39	スズメ	カラス	オナガ	145	156	125	68	88	62	644
40			ハシボソガラス	121	141	164	198	131	220	975
41			ハシブトガラス	164	146	186	241	212	235	1,184
42		シジュウカラ	ヒガラ	0	2	0	0	0	0	2
43			シジュウカラ	74	47	107	89	156	112	585
44		ヒバリ	ヒバリ	14	10	1	1	1	6	33
45		ツバメ	ツバメ	171	188	11	0	1	0	371
46			イワツバメ	4	16	10	0	0	6	36
47		ヒヨドリ	ヒヨドリ	73	92	69	1,149	697	609	2,689
48		ウグイス	ウグイス	0	0	0	12	4	12	28
49		メジロ	メジロ	10	3	11	115	126	101	366
50		ヨシキリ	オオヨシキリ	48	24	0	0	0	0	72
51		セッカ	セッカ	5	13	5	0	6	0	29
52		ムクドリ	ムクドリ	1,076	1,576	1,172	927	1,476	1,155	7,382
53			コムクドリ	1	0	3	0	0	0	4
54		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	2	6
55			アカハラ	0	0	0	0	0	2	2
56			ツグミ	0	0	0	36	164	377	577
57			ジョウビタキ	0	0	0	18	11	12	41
58			イソヒヨドリ	2	0	0	0	1	0	3
59			コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1
60			キビタキ	1	0	0	0	0	0	1
61		スズメ	スズメ	1,927	1,865	1,944	2,252	2,358	2,433	12,779
62		セキレイ	ハクセキレイ	22	31	25	153	149	127	507
63			セグロセキレイ	1	3	0	3	5	2	14
64			タヒバリ	0	0	0	13	15	23	51
65		アトリ	カワラヒワ	107	63	31	221	385	301	1,108
66			ベニマシコ	0	0	0	0	2	0	2
67			シメ	0	0	0	3	4	3	10
68		ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	2	12	14	28
69			カシラダカ	0	0	0	2	0	2	4
70			アオジ	0	0	0	11	17	23	51
71	オオジュリン		0	0	0	13	37	147	197	
種名特定できず			カモ S P	0	0	0	0	14	0	14
			ウ S P	0	0	0	0	0	1	1
			サギ S P	1	0	1	0	0	0	2
			チドリ S P	0	0	3	0	0	0	3
			シギ S P	1	0	0	0	0	1	2
			カモメ S P	0	1	0	0	0	59	60
			カラス S P	7	5	2	3	2	3	22
			ホオジロ S P	0	0	0	2	0	0	2
確認種個体数合計（羽）				4,396	4,830	4,309	6,589	10,456	7,631	38,211

資料3 ブロック別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	ハクガン	9	0	0	0	0	9
2			ヒドリガモ	322	6	176	35	336	875
3			マガモ	2	1	0	0	0	3
4			カルガモ	100	117	395	84	156	852
5			ハシビロガモ	0	0	0	13	2	15
6			オナガガモ	0	0	19	1	306	326
7			コガモ	106	31	97	5	0	239
8			ホシハジロ	38	31	0	0	4	73
9			キンクロハジロ	48	3	0	1	17	69
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	4	2	8	1	0	15
11			カンムリカイツブリ	4	8	0	0	1	13
12	ハト	ハト	キジバト	151	58	175	152	203	739
13	カツオドリ	ウ	カワウ	565	424	35	18	1335	2,377
14	ペリカン	サギ	アオサギ	37	24	7	1	21	90
15			ダイサギ	14	19	12	0	5	50
16			チュウサギ	0	2	0	0	0	2
17			コサギ	17	15	15	1	3	51
18	ツル	クイナ	バン	5	2	45	0	0	52
19			オオバン	164	57	102	6	102	431
20	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	1
21	チドリ	チドリ	イカルチドリ	5	0	0	0	0	5
22			コチドリ	2	3	0	0	1	6
23			メダイチドリ	0	4	0	0	0	4
24		シギ	チュウシャクシギ	0	5	0	0	0	5
25			イソシギ	24	27	6	0	3	60
26		カモメ	ユリカモメ	640	334	151	3	460	1,588
27			ウミネコ	21	95	0	0	5	121
28			カモメ	0	1	0	0	1	2
29			セグロカモメ	42	9	5	16	47	119
30			オオセグロカモメ	0	1	0	0	0	1
31			コアジサシ	1	3	2	0	11	17
32	タカ	タカ	トビ	1	1	0	0	0	2
33			ツミ	0	0	0	0	1	1
34			オオタカ	0	0	2	0	0	2
35	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	0	4	3	2	9
36		キツツキ	コゲラ	0	2	2	6	11	21
37	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	5	5	0	0	0	10
38	スズメ	モズ	モズ	34	18	6	0	10	68

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
39	スズメ	カラス	オナガ	55	38	103	240	208	644	
40			ハシボソガラス	191	133	268	216	167	975	
41			ハシブトガラス	120	141	111	291	521	1,184	
42		シジュウカラ	ヒガラ	0	0	2	0	0	2	
43			シジュウカラ	119	34	154	147	131	585	
44		ヒバリ	ヒバリ	28	2	3	0	0	33	
45		ツバメ	ツバメ	142	70	62	16	81	371	
46			イワツバメ	6	17	13	0	0	36	
47		ヒヨドリ	ヒヨドリ	426	318	367	749	829	2,689	
48		ウグイス	ウグイス	4	8	2	5	9	28	
49		メジロ	メジロ	114	35	33	44	140	366	
50		ヨシキリ	オオヨシキリ	43	28	1	0	0	72	
51		セッカ	セッカ	13	16	0	0	0	29	
52		ムクドリ	ムクドリ	2,273	1,303	1,002	1,296	1,508	7,382	
53			コムクドリ	0	0	0	0	4	4	
54		ヒタキ	シロハラ	0	0	4	0	2	6	
55			アカハラ	0	0	0	0	2	2	
56			ツグミ	227	138	74	45	93	577	
57			ジョウビタキ	9	7	5	5	15	41	
58			イソヒヨドリ	1	2	0	0	0	3	
59			コサメビタキ	0	0	1	0	0	1	
60			キビタキ	1	0	0	0	0	1	
61		スズメ	スズメ	3,422	1,496	1,201	2,920	3,740	12,779	
62		セキレイ	ハクセキレイ	183	100	67	75	82	507	
63			セグロセキレイ	3	3	0	3	5	14	
64			タヒバリ	28	23	0	0	0	51	
65		アトリ	カワラヒワ	366	354	160	116	112	1,108	
66			ベニマシコ	0	2	0	0	0	2	
67			シメ	3	0	6	1	0	10	
68		ホオジロ	ホオジロ	14	14	0	0	0	28	
69			カシラダカ	0	2	2	0	0	4	
70			アオジ	15	29	0	0	7	51	
71			オオジュリン	108	80	9	0	0	197	
種名特定できず			カモ S P	1	1	0	12	0	14	
			ウ S P	0	1	0	0	0	1	
			サギ S P	2	0	0	0	0	2	
			チドリ S P	3	0	0	0	0	3	
			シギ S P	2	0	0	0	0	2	
			カモメ S P	59	1	0	0	0	60	
			カラス S P	9	0	6	0	7	22	
			ホオジロ S P	2	0	0	0	0	2	
確認種個体数合計（羽）				10,353	5,704	4,920	6,528	10,706	38,211	

資料 4 平成27年5月に確認された野鳥

No	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	2	1	0	1	8	0	1	9
2	イソシギ	5	3	1	0	0	9	0	0	9
3	イソヒヨドリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
4	イワツバメ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
5	オオヨシキリ	31	16	1	0	0	48	0	0	48
6	オナガ	18	9	20	58	40	5	76	64	145
7	オナガガモ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
8	カイツブリ	0	0	5	0	0	0	5	0	5
9	カルガモ	16	5	63	19	25	46	82	0	128
10	カワウ	27	34	2	1	15	68	3	8	79
11	カワセミ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
12	カワラヒワ	55	22	5	4	21	49	23	35	107
13	キジバト	25	21	24	27	46	18	56	69	143
14	キビタキ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
15	コアジサシ	1	3	2	0	9	13	2	0	15
16	コゲラ	0	0	1	2	0	0	3	0	3
17	コサギ	2	2	1	0	0	5	0	0	5
18	コチドリ	1	0	0	0	1	2	0	0	2
19	コムクドリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
20	シジュウカラ	18	5	22	8	21	11	24	39	74
21	スズメ	449	254	206	448	570	409	653	865	1,927
22	セグロセキレイ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
23	セッカ	0	5	0	0	0	5	0	0	5
24	ダイサギ	2	1	2	0	0	5	0	0	5
25	チュウシャクシギ	0	5	0	0	0	5	0	0	5
26	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
27	ツバメ	56	39	33	4	39	92	14	65	171
28	ハクセキレイ	4	10	3	2	3	16	1	5	22
29	ハシブトガラス	19	23	10	56	56	20	56	88	164
30	ハシボソガラス	20	9	35	37	20	36	39	46	121
31	バン	1	1	5	0	0	2	5	0	7
32	ヒバリ	12	0	2	0	0	14	0	0	14
33	ヒヨドリ	9	14	11	14	25	10	31	32	73
34	ムクドリ	255	262	174	184	201	453	317	306	1,076
35	メジロ	10	0	0	0	0	0	0	10	10
36	ユリカモメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
	合計	1,046	752	630	864	1,095	1,361	1,391	1,635	4,387
*	サギ S P	1	0	0	0	0	1	0	0	1
*	シギ S P	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	カラス S P	0	0	0	0	7	3	4	0	7
	総合計 (羽)	1,048	752	630	864	1,102	1,366	1,395	1,635	4,396

資料5 平成27年7月に確認された野鳥

No	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	8	13	2	0	4	26	0	1	27
2	イソシギ	1	1	1	0	0	3	0	0	3
3	イワツバメ	0	13	3	0	0	13	3	0	16
4	ウミネコ	11	67	0	0	0	78	0	0	78
5	オオバン	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	オオヨシキリ	12	12	0	0	0	24	0	0	24
7	オナガ	16	9	36	64	31	8	87	61	156
8	オナガガモ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
9	カイツブリ	4	0	1	0	0	4	1	0	5
10	カルガモ	6	20	92	12	44	60	101	13	174
11	カワウ	12	31	2	3	6	53	0	1	54
12	カワラヒワ	11	14	1	11	26	19	13	31	63
13	キジバト	18	7	4	19	17	5	30	30	65
14	コアジサシ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
15	コゲラ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
16	コサギ	4	4	0	0	0	8	0	0	8
17	シジュウカラ	14	1	12	9	11	9	27	11	47
18	スズメ	619	105	172	403	566	379	641	845	1,865
19	セグロカモメ	0	0	0	11	0	5	0	6	11
20	セグロセキレイ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
21	セッカ	9	4	0	0	0	13	0	0	13
22	ダイサギ	2	4	0	0	1	7	0	0	7
23	チョウゲンボウ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
24	ツバメ	82	31	22	12	41	113	33	42	188
25	ハクセキレイ	12	8	3	2	6	19	8	4	31
26	ハシブトガラス	18	20	13	28	67	40	58	48	146
27	ハシボソガラス	37	18	46	23	17	44	36	61	141
28	バン	0	0	6	0	0	0	6	0	6
29	ヒガラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
30	ヒバリ	8	2	0	0	0	10	0	0	10
31	ヒヨドリ	20	2	15	32	23	12	34	46	92
32	ムクドリ	488	259	226	231	372	659	625	292	1,576
33	メジロ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
34	メダイチドリ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
	合計	1,414	652	662	861	1,235	1,622	1,710	1,492	4,824
*	カモメ S P	0	1	0	0	0	1	0	0	1
*	カラス S P	5	0	0	0	0	5	0	0	5
	総合計（羽）	1,419	653	662	861	1,235	1,628	1,710	1,492	4,830

資料 6 平成27年9月に確認された野鳥

No	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	1	1	0	4	10	0	1	11
2	イソシギ	7	5	1	0	0	13	0	0	13
3	イワツバメ	0	0	10	0	0	0	10	0	10
4	ウミネコ	2	2	0	0	1	5	0	0	5
5	オナガ	10	5	10	38	62	8	73	44	125
6	カルガモ	13	68	66	4	25	111	61	4	176
7	カワウ	3	34	10	5	17	55	7	7	69
8	カワセミ	0	0	2	1	0	3	0	0	3
9	カワラヒワ	5	4	3	16	3	2	19	10	31
10	キジバト	19	6	16	14	34	15	29	45	89
11	コガモ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
12	コゲラ	0	0	0	0	6	0	4	2	6
13	コサギ	9	5	0	0	0	14	0	0	14
14	コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
15	コチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
16	コムクドリ	0	0	0	0	3	3	0	0	3
17	シジュウカラ	7	8	31	34	27	9	57	41	107
18	スズメ	710	265	149	301	519	650	590	704	1,944
19	セグロカモメ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
20	セッカ	2	3	0	0	0	5	0	0	5
21	ダイサギ	7	9	4	0	2	22	0	0	22
22	チョウゲンボウ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
23	ツバメ	4	0	6	0	1	5	4	2	11
24	ツミ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
25	トビ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
26	ハクセキレイ	12	6	2	4	1	16	6	3	25
27	ハシブトガラス	31	20	7	57	71	32	52	102	186
28	ハシボソガラス	33	39	32	39	21	64	56	44	164
29	バン	0	0	7	0	0	0	7	0	7
30	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
31	ヒヨドリ	13	6	5	27	18	6	28	35	69
32	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	1	0	1
33	ムクドリ	495	92	129	229	227	595	298	279	1,172
34	メジロ	6	0	0	0	5	0	11	0	11
35	モズ	3	2	1	0	2	6	1	1	8
	合計	1,409	581	493	770	1,050	1,663	1,315	1,325	4,303
*	サギ S P	1	0	0	0	0	1	0	0	1
*	チドリ S P	3	0	0	0	0	3	0	0	3
*	カラス S P	1	0	1	0	0	0	1	1	2
	総合計(羽)	1,414	581	494	770	1,050	1,667	1,316	1,326	4,309

資料 7 平成27年11月に確認された野鳥

№	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	12	1	0	1	4	13	4	1	18
2	アオジ	2	8	0	0	1	10	1	0	11
3	イカルチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
4	イソシギ	6	9	0	0	3	15	3	0	18
5	ウグイス	1	2	1	2	6	2	2	8	12
6	ウミネコ	6	17	0	0	4	27	0	0	27
7	オオジュリン	3	10	0	0	0	13	0	0	13
8	オオセグロカモメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
9	オオバン	48	4	31	1	5	82	7	0	89
10	オナガ	6	0	5	34	23	0	14	54	68
11	オナガガモ	0	0	8	0	81	0	89	0	89
12	カイツブリ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
13	カシラダカ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
14	カルガモ	8	2	52	21	24	73	34	0	107
15	カワウ	38	54	4	2	13	108	2	1	111
16	カワセミ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
17	カワラヒワ	120	51	22	14	14	139	40	42	221
18	カンムリカイツブリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
19	キジバト	16	4	14	17	32	15	33	35	83
20	キンクロハジロ	0	0	0	0	3	3	0	0	3
21	コガモ	0	1	26	5	0	27	0	5	32
22	コゲラ	0	2	0	1	4	2	4	1	7
23	コサギ	1	0	3	1	1	5	0	1	6
24	シジュウカラ	19	1	36	13	20	3	63	23	89
25	シメ	2	0	1	0	0	0	0	3	3
26	ジョウビタキ	5	3	3	1	6	2	6	10	18
27	シロハラ	0	0	1	0	0	0	0	1	1
28	スズメ	547	234	218	541	712	367	738	1147	2,252
29	セグロカモメ	6	3	0	2	10	19	0	2	21
30	セグロセキレイ	0	0	0	0	3	0	0	3	3
31	ダイサギ	1	3	2	0	2	7	1	0	8
32	タヒバリ	13	0	0	0	0	13	0	0	13
33	チュウサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
34	チョウゲンボウ	1	1	0	0	0	1	0	1	2
35	ツグミ	7	9	3	5	12	5	10	21	36
36	ハクガン	3	0	0	0	0	3	0	0	3
37	ハクセキレイ	52	35	25	17	24	90	42	21	153
38	ハシビロガモ	0	0	13	0	0	13	0	0	13
39	ハシブトガラス	20	36	22	55	108	41	77	123	241
40	ハシボソガラス	40	22	57	31	48	67	61	70	198
41	バン	0	1	10	0	0	3	8	0	11
42	ヒドリガモ	58	0	39	0	21	99	19	0	118
43	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
44	ヒヨドリ	187	124	159	346	333	170	470	509	1,149
45	ホオジロ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
46	ホシハジロ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
47	ムクドリ	295	116	131	245	140	264	276	387	927
48	メジロ	23	14	7	27	44	9	59	47	115
49	モズ	16	8	3	0	2	17	5	7	29
50	ユリカモメ	106	75	2	2	63	218	25	5	248
	合計	1,675	857	901	1,384	1,767	1,960	2,096	2,528	6,584
*	カラス S P	0	0	3	0	0	3	0	0	3
*	ホオジロ S P	2	0	0	0	0	1	1	0	2
	総合計 (羽)	1,677	857	904	1,384	1,767	1,964	2,097	2,528	6,589

資料 8 平成28年1月に確認された野鳥

№	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	6	4	2	0	3	15	0	0	15
2	アオジ	2	11	0	0	4	13	2	2	17
3	イソシギ	3	2	1	0	0	6	0	0	6
4	イソヒヨドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
5	ウグイス	1	1	0	1	1	2	0	2	4
6	ウミネコ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
7	オオジュリン	22	13	2	0	0	37	0	0	37
8	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
9	オオバン	67	18	43	3	64	182	10	3	195
10	オナガ	4	7	22	33	22	15	44	29	88
11	オナガガモ	0	0	11	0	141	0	152	0	152
12	カイツブリ	0	1	0	1	0	2	0	0	2
13	カモメ	0	1	0	0	1	2	0	0	2
14	カルガモ	21	4	83	19	29	130	26	0	156
15	カワウ	401	192	9	4	1255	1841	5	15	1,861
16	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
17	カワラヒワ	114	164	35	54	18	221	101	63	385
18	カンムリカイツブリ	1	6	0	0	0	7	0	0	7
19	キジバト	36	13	87	37	37	19	116	75	210
20	キンクロハジロ	39	1	0	0	14	54	0	0	54
21	コガモ	46	19	31	0	0	94	2	0	96
22	コゲラ	0	0	1	0	1	0	1	1	2
23	コサギ	0	1	4	0	0	5	0	0	5
24	シジュウカラ	37	10	26	46	37	21	72	63	156
25	シメ	1	0	3	0	0	0	3	1	4
26	ジョウビタキ	2	2	1	3	3	2	3	6	11
27	シロハラ	0	0	1	0	2	0	2	1	3
28	スズメ	517	310	217	521	793	386	797	1175	2,358
29	セグロカモメ	19	2	2	2	26	49	0	2	51
30	セグロセキレイ	1	1	0	1	2	2	1	2	5
31	セッカ	2	4	0	0	0	6	0	0	6
32	ダイサギ	2	2	1	0	0	5	0	0	5
33	タヒバリ	15	0	0	0	0	15	0	0	15
34	チュウサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
35	チョウゲンボウ	0	1	0	0	0	0	0	1	1
36	ツグミ	54	40	14	15	41	78	60	26	164
37	ツバメ	0	0	1	0	0	0	0	1	1
38	ハクガン	3	0	0	0	0	3	0	0	3
39	ハクセキレイ	60	18	18	27	26	73	40	36	149
40	ハシブトガラス	16	18	14	57	107	19	89	104	212
41	ハシボソガラス	22	25	25	32	27	42	42	47	131
42	バン	0	0	9	0	0	0	9	0	9
43	ヒドリガモ	239	6	72	3	156	424	37	15	476
44	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
45	ヒヨドリ	129	99	66	173	230	113	228	356	697
46	ベニマシコ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
47	ホオジロ	6	6	0	0	0	12	0	0	12
48	ホシハジロ	29	16	0	0	3	48	0	0	48
49	ムクドリ	492	250	189	209	336	561	445	470	1,476
50	メジロ	49	16	5	3	53	7	71	48	126
51	モズ	7	3	1	0	2	8	2	3	13
52	ユリカモメ	342	155	125	1	381	946	47	11	1,004
	合計	2,809	1,447	1,123	1,245	3,816	5,473	2,409	2,558	10,440
*	カモ S P	1	1	0	12	0	2	0	12	14
*	カラス S P	0	0	2	0	0	0	0	2	2
	総合計 (羽)	2,810	1,448	1,125	1,257	3,816	5,475	2,409	2,572	10,456

資料9 平成28年3月に確認された野鳥

№	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	1	3	1	0	5	8	2	0	10
2	アオジ	11	10	0	0	2	21	2	0	23
3	アカハラ	0	0	0	0	2	0	1	1	2
4	イソシギ	2	7	2	0	0	11	0	0	11
5	イワツバメ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
6	ウグイス	2	5	1	2	2	7	3	2	12
7	ウミネコ	2	7	0	0	0	8	0	1	9
8	オオジュリン	83	57	7	0	0	147	0	0	147
9	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オオバン	49	34	28	2	33	131	13	2	146
11	オナガ	1	8	10	13	30	2	41	19	62
12	オナガガモ	0	0	0	1	82	1	82	0	83
13	カイツブリ	0	1	1	0	0	1	1	0	2
14	カシラダカ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
15	カルガモ	36	18	39	9	9	94	17	0	111
16	カワウ	84	79	8	3	29	187	5	11	203
17	カワセミ	0	0	0	2	0	1	0	1	2
18	カワラヒワ	61	99	94	17	30	144	117	40	301
19	カンムリカイツブリ	2	2	0	0	1	5	0	0	5
20	キジバト	37	7	30	38	37	15	62	72	149
21	キンクロハジロ	9	2	0	1	0	12	0	0	12
22	コガモ	53	11	40	0	0	103	1	0	104
23	コゲラ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
24	コサギ	1	3	7	0	2	12	1	0	13
25	コチドリ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
26	シジュウカラ	24	9	27	37	15	20	50	42	112
27	シメ	0	0	2	1	0	0	3	0	3
28	ジョウビタキ	2	2	1	1	6	5	4	3	12
29	シロハラ	0	0	2	0	0	0	1	1	2
30	スズメ	580	328	239	706	580	356	714	1363	2,433
31	セグロカモメ	15	4	3	1	11	33	0	1	34
32	セグロセキレイ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
33	ダイサギ	0	0	3	0	0	2	1	0	3
34	タヒバリ	0	23	0	0	0	23	0	0	23
35	チョウゲンボウ	2	1	0	0	0	2	0	1	3
36	ツグミ	166	89	57	25	40	227	102	48	377
37	トビ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
38	ハクガン	3	0	0	0	0	3	0	0	3
39	ハクセキレイ	43	23	16	23	22	75	30	22	127
40	ハシビロガモ	0	0	0	2	0	1	0	1	2
41	ハシブトガラス	16	24	45	38	112	28	106	101	235
42	ハシボソガラス	39	20	73	54	34	59	97	64	220
43	バン	4	0	8	0	0	7	5	0	12
44	ヒドリガモ	25	0	65	32	159	244	37	0	281
45	ヒバリ	5	0	1	0	0	6	0	0	6
46	ヒヨドリ	68	73	111	157	200	118	225	266	609
47	ホオジロ	8	6	0	0	0	14	0	0	14
48	ホシハジロ	9	12	0	0	1	22	0	0	22
49	マガモ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
50	ムクドリ	248	324	153	198	232	548	297	310	1,155
51	メジロ	26	5	18	14	38	20	51	30	101
52	モズ	8	5	1	0	4	13	2	3	18
53	ユリカモメ	189	104	24	0	16	317	0	16	333
	合計	1,922	1,412	1,118	1,381	1,734	3,068	2,078	2,421	7,567
*	ウス P	0	1	0	0	0	0	0	1	1
*	シギ S P	1	0	0	0	0	1	0	0	1
*	カモメ S P	59	0	0	0	0	59	0	0	59
*	カラス S P	3	0	0	0	0	2	0	1	3
	総合計(羽)	1,985	1,413	1,118	1,381	1,734	3,130	2,078	2,423	7,631

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモS P	0	0	0	0	31	46	0	9	87
*			ハクチョウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075
*			ウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120
*			サギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67
40			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9
41	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0
42			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*			カッコウS P	0	0	0	0	0	0	1	0	0
44	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0
46	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23
50			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0
51			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
*			チドリS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7	39	63	33	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0
8	3	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875
10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
11	10	1	3	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3
12	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852
13	11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15
14	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326
15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239
17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69
21	4	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0
*	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	6	1	2	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14
*	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0
22	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15
23	0	2	0	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13
24	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0
25	1,019	1,078	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739
26	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29	0	3	1	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
30	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0
31	1	4	10	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0
32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
33	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
34	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90
35	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50
36	3	1	0	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2
37	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51
*	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2
38	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0
39	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52
40	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431
41	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	0	0	0	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0
46	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5
49	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6
50	1	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0
51	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
52	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0
53	0	0	2	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
54	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0
55			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
57			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3
58			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49
59			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
60			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809
63			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482
64			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12
65			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
66			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419
67			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3
68			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34
69			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0
*			カモメS P	0	0	0	0	3	7	1	3	4
70	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1
72			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2
*			タカS P	0	0	0	0	0	0	0	1	0
74	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0
76			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0
77	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5
78	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14
79			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44
81			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1
82	スズメ	モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45
83		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0
84			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557
85			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397
86			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910
*			カラスS P	0	0	0	0	1	10	10	39	10
87		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0
88		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0
89			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0
90			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0
91			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121
92		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180
93		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
94			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391
95			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79
96		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008
97		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37
*			ウグイスS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
99		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0
100			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
101		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223
102		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128
103			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0
104		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104
105		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0
106			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566
108			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0
109		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5
56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0
58	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60
59	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
60	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2
61	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	9,297	7,376	6,200	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588
63	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121
64	0	0	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2
65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119
67	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1
68	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17
69	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60
70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
71	1	2	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2
72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
73	0	1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2
*	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0
74	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9
78	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21
79	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
80	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10
81	0	0	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0
82	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68
83	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
84	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644
85	1,456	1,340	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975
86	3,899	3,725	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184
*	0	0	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22
87	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
88	0	0	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0
89	0	0	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2
91	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585
92	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33
93	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
94	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371
95	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36
96	3,245	3,213	3,435	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689
97	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28
*	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0
99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
101	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366
102	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72
103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29
105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
107	6,728	6,913	7,024	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382
108	71	0	70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4
109	7	7	1	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	
110	スズメ	ヒタキ	アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4	
111			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565	
112			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
113			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	
114			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	
115			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	
116			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
117			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
118			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
119			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	
120			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	
121			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
122			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
*					ヒタキS P	0	0	0	0	0	0	2	0
123		スズメ		ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124				スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003
125		セキレイ		キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0
126				ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708
127				セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0
128				ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129				タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10
130		アトリ		アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131				カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554
132				マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2
133				ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
134				ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
135				シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2
136				コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137			ホオジロ		ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41
138				ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1
139				キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
140				カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5
141				アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106
142				クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0
143				シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0
144				オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127
*					ホオジロS P	0	0	0	0	0	0	0	0
総 合 計 (羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557	

種名に S P とあるものは、種名まで確認できなかったもの

種名に H とあるものは交雑種 (hybrid)、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後に H をつけている

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
110	4	4	5	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2
111	599	889	617	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577
112	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
113	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41
114	0	0	2	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0
115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
116	0	0	0	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3
117	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
118	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
119	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1
120	2	0	1	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1
121	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
123	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124	18,171	18,821	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779
125	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0
126	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507
127	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14
128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
129	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51
130	0	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
131	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108
132	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0
133	0	3	3	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2
134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
135	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10
136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
137	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28
138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
140	3	1	3	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4
141	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51
142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
143	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	55,212	54,091	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211

参考

《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成27年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40

資料11 平成27年度 野鳥モニター活動記録

4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱

4月26日（日）野鳥モニター基礎研修会

5月 野鳥生息調査（1回目）

7月 野鳥生息調査（2回目）

7月14日（火）野鳥モニター調査報告会（26年度調査分）

9月 野鳥生息調査（3回目）

11月 野鳥生息調査（4回目）

11月14日（土）区民向け野鳥観察会

1月 野鳥生息調査（5回目）

1月23日（土）野鳥モニター研修会（彩湖・道満グリーンパーク）

3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



調査報告会



観察会



研修会

平成 2 8 年 8 月発行

発 行 足立区

編 集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目 1 7 番 1 号
電話 0 3 - 3 8 8 0 - 5 8 6 0